

岩城魁  
編纂

元明史畧訓字海  
下

特32

324

宋 明 山

西遊東略辨字海卷之下

書目

書目

岩城魁編次

孝宗敬皇帝

原藉

原ハ本ナリ籍ハ族籍ヲ云フ

○外方

王畿ノ外ヲ指ス

○多戀不能釋

戀ハ思慕ナリ言フハ内閣ノ官ヲ思慕シテ印綬ヲ脱スル能ハザルナリ

○三台星

白氏六帖ニ三台星ハ三公ノ象ナリト

見エ ○陽痿

陽ハ陰莖ナリ痿ハ儒垂及音糞又委ノ去声ニシテ義同ジ痺病ナリ史記五宗世家陰痿ノ注ニ正義曰不能御婦人ヲト

アリ ○房中術

閨房中婦人ヲ御スルノイヲ云フ

○愧汗

愧慙流汗

○耕

ス

籍田 五經要義ニ曰ク天子籍田以供上帝之采歲所以先百姓而致孝也  
一高也トス詩疏ニ籍之訓借也借民力治之故謂之籍田トセリ

教坊 散樂歌曲ヲ教ル局ノ名唐ノ開元二年始テ之ヲ設ク乃チ明皇蓬萊宮ノ側ニ於テ教坊ヲ立テ以テ散樂倡優曼衍ノ戲ニ隸ブト云フ是ナリ

○稼穡 正韻ニ獲之曰稼餘之曰穡ト見エタリ

○瀆亂宸聰 瀆ハ汚ナリ宸聰ハ猶ホ天聰ト云フガ  
○儲 儲ノ音  
○湯 湯ノ音

○夏 夏ノ音  
○視 視ノ音  
○阿 邦訓オモネル

○乞休 乞テ休ラ休暇ヲ乞フナリ致仕ヲ云

○誓 誓ハ周礼ノ注ニ計也トシ遲ハ廣韻ニ

○諷 諷論ナリ俗言遠ホ廻シニ水ヲ向ルト云フナリ

○貧濁 貧ハ乏也濁ハ汚也

○媚 媚ハ忌ナリ賢ヲ妨ルノ謂也

○困弊 困ハ苦弊ハ壞ナリ

○長策 長大ナル策ト云フ

○砥 砥ハ磨石ニシテ廉隅ハ璞玉ノ骨角ヲ云フ言フハ人ノ行ナヒテ勉カトスミルハ璞玉ノ骨角ヲ砥厲シテ全形ノ義ヲ為スガゴトシトナリ

○循吏 循良ノ吏ト云フ史記循吏傳ニ奉職循理亦可以為治何必威儀哉ト云ヘリ

○訐奏 訐音結邦私也ト見エタリ

○銜 銜ハ憾ナリ

○經理 經理ト云フ義

○要路 要路ト云フ義

○喉襟 喉襟ト云フ義

○斗門 水門ナリ水ヲ斗ルノ義

○可汗 夷酋ノ尊稱ニシテ漢ノ單于ニ同ジ

○溼 溼ハ水ノ名

○瀆 瀆ト云フ義

○題奏 天子ヨリ問題ヲ出シテ諸臣ニ答議セシムル奏書ナリ

○擬 擬ト云フ義

○擬 擬ト云フ義

○擬 擬ト云フ義

擬ハ度ナリ帝旨ヲ 推度スルヲ云フ ○疑滯 疑ハ礙ト作ス可シ 音交邦訓ナハル ○勢家子 權勢アル

家ノ子 ト云フ ○芻 說文ニ刈草也トアリテ牛馬ノ飼ナリ ○牟利 ヲ牟ハ玉篇ニ取也奪也トアレバ訓ジテムサボル

ト為ス 可シ ○儲積充羨 積ハ去声ニ讀ム可シ音恣蓄聚ナリ羨ハ羨ノ誤リ餘ナリ羨字音義トモニ異ナレリ

○簡閱禁兵 簡閱ハエラビケミスト訓ジテ凡ソ物ノ負教ヲ一々點檢スルノ謂ナリ禁兵ハ禁門ノ衛兵ヲ云 ○

不隸 隸ハ屬ナリ ○南軍 漢制ニ帝宮ヲ衛ルノ兵城内ニ在ル者ヲ南軍ト為シ京城ノ軍ヲ北軍ト謂ヒ以テ之ヲ

別テリ南軍ハ都尉之ヲ主リ北軍ハ中尉之ヲ主ル ○更番 俚言交代ノ謂ニシテカハルトト訓ズルモ可也 ○上

直 宿直ニ上ルノ義ニシテ俚言トマリ番ナリ ○揀選操練 揀ハ音簡擇ナリ操練ハ猶ホ訓練ト云ガゴトク

兵團ノ士ヲ習熟セシムルノ謂ナリ ○優容 和柔ノ義 ○符籙 符ハ神符ニシテ籙ハ籙ナリ我が所謂祈禱札ノ

類ナラシ ○殤 幼者ノ喪ヲ云フ礼記ニ年十六ヨリ十九ニ至ルノ死ヲ長殤トシ年十二ヨリ十五ニ至ルノ死ヲ中殤ト為シ八歳ヨリ十二歳ニ至ルノ死ヲ下殤ト為シ七歳已下ヲ無服ノ殤ト為ス生レテ未ダ三月ナラザルハ殤トセズト云ヘリ ○日者 日月星辰

官ヲ云フ ○犯歲忌 歲星ノ忌諱ニ觸ルト云フ ○餽 贈ナリ ○如許 如此ト云フニ同ジ

○羅玘 玘音起 ○廉耻 廉ハ潔清ノ義言フハ羞耻ヲ潔清スルナリ ○暴白 暴ハ暴ナリ

反曬ナリ 顯ナリ ○慢易 易ハ去声 侮ナリ ○篩 申之 ○眼窳 窳ハ語帛反穴ナリ 眼穴ハ池

面ノ穴ヲ云フ ○天譴 譴ハ責怒ナリ俗言トガメト云フ意 ○註 記書スルノ義ナリ ○貼 粘置ナリ俗言ハ

リツケル ○揭帖 字典ニ啓事今日揭帖トアリテ天子ニ啓白スル書牘ノ名 ○斜封墨

勅 唐ノ中宗帝景龍二年ニ始テ之ヲ用フ乃チ天子ノ内勅ニシテ中書ニ付シテ行ハシムルガ故ニ時人稱シテ斜封官ト云フ其朱印ヲ用ヒズ正封

ヲ用ヒザルヲ ○府部 諸州府ノ部 官ト云一 ○咨 諮ト同ジ 謀ナリ ○匪人

匪ハ非ナリ非 道ノ人ト云一 ○要職 要路ノ職ト云一ニ 執政ノ官ナリ ○老邁 邁ハ過グルノ 義ニテ年齢ノ

經過セル 云ヘリ ○寒具 防寒ノ具 ○素朴 質素 朴實 ○牝馬 牝ハ獸類 ノ陰雌

○顔曾 顔回 曾參 ○大關鍵 關ハ門ヲ閉ルノ謂鍵ハ扉ヲ鎖スノ謂 ニシテ事ノ肝要ナルコトニ譬ヘリ

○為漸 漸ハ進ナリ病ノ大ニ篤進スルヲ云 漸ハ進ナリ病ノ大ニ篤進スルヲ云 漸ハ進ナリ病ノ大ニ篤進スルヲ云

○揣知 揣ハ計ナリ ○逸樂 逸ハ邦訓ノガル言フハ政務ヲノガレテ樂ミニ耽ルナリ

武宗穆皇帝

八虎 虎ハ獸中ノ至猛ニシテ猶ホ人 中ノ俊傑アルガゴトニ故ニ云 ○訕 音刑 謗ナリ ○誰何

正韻ニ詰問也トシ又漢書ノ 注ニ師古曰問之為誰トセリ ○褫 音取 奪ナリ ○乞歸 官ヲ辭テ郷里ニ歸ルヲ云フ

○祖餞 祖ハ行神ヲ祭ルナリ餞ハ説文ニ送客也 アリテ行人ヲ送ルニ飲酒ヲ以テスルナリ ○歐歎 悲泣シテ

氣息ヲ吞ムナリ俗言 被眷留 眷ハ眷顧ナリ言フハ眷遇シ ス、リナキト云一 眷ハ眷顧ナリ言フハ眷遇シ

偵 伺ナリ ○溷 胡困反 糺ナリ ○批答 兵訥曰々批答ハ天子親ラ臣下ノ 章疏ヲ採テ取捨ヲ定ムルナリト

劉璋帝ニ代テ私弟ニ 於テ專ラ之ヲ為ス ○頰首 頰ハ俯ト同ジ音 付首ヲ低ルナリ ○捏音 藝授

ナリ帝ノ音ヲ 推度スルヲ云 ○榜示 木片ニ奸黨ノ文字ヲ 題署シテ衆ニ示ス也 ○軫 星ノ名風ヲ主レリ

分野 星宿ノ應スル區域ナリ礼記春官ニ保章氏星土ヲ以テ九州ニ封ゼ ラルノ所ヲ辨シ分テリ封域皆ナ分星有テ以テ妖祥ヲ觀ルト見

エタ ○張芮 芮音 丙 ○繪給 授繪辨給ト云一ニテ辨捷ヲ以テ 是非ヲ擾乱スルヲ云繪ハ擾給ハ

二書

敏言 ○王振 明ノ英宗ノ臣 ○貪酷 酷ハ甚劇ノ謂ナリ ○深文 文法深刻ニシテ人

ヲ罪ニ陷スラ云 ○墀 官庭ナリ ○象分 通鑑ノ注ニ區處曰象分別曰分トアリテ俚語ノトリハカラヒナリ

○廉知 廉ハ察ナリ邦訓ツマビラカ ○逮 居者ヲ捕フ又逮ト云 ○罰米 ラ罰スルニ

米價ヲ出シ罪ヲ贖ハシムルナリ ○稱貸 利息ヲ收メテ物ヲ貸スヲ云孟子ノ注ニ称也取物於人而出息以償之也ト見エタリ

○籍 以籍没ナリ言フハ有罪ノ家財ヲ簿籍ニ署シテ以テ官ニ没入スルナリ邦人ノ闕所ト呼做セルナリ ○持不

可 力理ヲ持テ不心ヲ音ゼザルヲ云 ○嫚 侮ナリ ○携 テ 饋 饋ノ音葉ナリ尔雅ニ野饋ヲ饋ト曰トアレハ里

俗所謂ベン ○陸贄 唐ノ徳宗ノ賢臣ナリ ○質直 質朴ニシテ清直ト云 ○色 色 拯 拯ハ

汲 黯ハ於咸及漢ノ景帝ノ賢臣ナリ ○廉潔 廉直ニシテ潔清ト云 ○包拯 拯ハ

畧音蒸ナリ宋ノ仁宗ノ賢臣ナリ ○司馬光 宋ノ仁宗英宗神宗哲宗四朝ニ仕ヘシ賢臣ナリ ○草寇

草野ノ竊盜ト云一ニテ邦人所謂野武士ナリ ○流賊 流寓ノ賊徒 ○逸去 逸ハ逃ナリ

寘 音至 鑄 煩 ○苛斂慘酷 苛ノ言タル細織ナリ賦稅ヲ收斂スル細織ニワタルヲ云ヘリ慘酷ハ俚語

ニムゴシト云 フ下ニ同シ ○殿下 人ヲ尊稱スルノ語タリ陛下ノ亞ナリ唐制ニ皇太子皇后百官上疏シテ殿下ト稱セリ

呻吟 咏歌スルナリ ○激成 激ハ邦訓ニハゲマス ○猶豫 集韻ニ扱ルニ猶ハ獸名ニシ

元山中ニ居ル人声ヲ聞ケバ豫ジメホニ登テ之ヲ避ケ人無レバ乃チ下ル故ニ世ニ不決ヲ目シテ猶豫ト曰ト見エタリ ○蕤粉

俗言ニコナミ ○凌遲 猶水陵夷ト云ガゴトク揆類ヲ誅滅スル一ニ假用セリ陵夷ノ義タル丘陵ヲ平夷ニスルナリ

○寶貝 貝ハ貨ナリ古ハ今貝ヲ用テ通貨ニ代フ故ニ通称トセリ ○簡括 簡閱シテ括取スル

五

誅求 誅ハ責ナリ ○屯田 兵卒ヲシテ屯塞ニ置キ事アレバ聚屯シ事無レバ田畝ニ散耕シテ不虞ニ備フルヲ云

○殮資 葬費ノナリ ○一竇 竇音豆穴ナリ。礼記ノ注ニ鑿垣為

○鯁直 骨鯁直正ト云フニテ俗ニ所謂トゲツホキナリ。玉篇ニ鯁ハ食骨留咽中也ト見エタリ ○剽掠 殺累

○首伏 自首シテ罪ニ伏スルナリ ○貫死 貫音世ナリ。漢書ノ註ニ師古曰ク貫ハ其罪ヲ寬スヲ謂フト見エタ

○剽劫 剽ハ劫。劫ハ乞業及強取ナリ ○冀邀 冀ハ邦訓コヒネガフ。邀ハモトムルナリ

徵回 徴ハ召ナリ ○畿輔 畿内三輔ノ地ト云フ ○義子 養子ト云フニテ義ヲ以テ子

謂ナリ ○驍悍 猛勇ナリ ○互調操練 言フハ辺軍ト京軍ト調和シテ戦技ヲ

操習練熟セシトナリ ○調選 也 ○羣閹 閹ハ閹尹ニテ内官ヲ云ヘリ ○宮苑 禁園ナリ

○噍類 生者ト云ニ同ジ。說文ニ噍ハ齧也トアリテ。漢書噍類ノ注ニ如淳曰無復有活而噍食者也ト見エタリ ○異

謀 異変ノ謀議ト云フ一ニテ及逆ノ義ナリ ○内使 皇夫人ノ属官ナリ ○危法 危劇ノ刑法ト云フ

○戍 戍卒ニシテ辺塞ヲ戍ルノ謂 ○輦 車ナリ。輿車ニテ運輸スルヲ云フ ○徧 餘リ無クト云フ義ナリ

○不卑藩封 卑ハ典ナリ。藩封トハ藩屏ノ封土ト云フ一ニテ諸侯ノ領分ナリ ○吝 慳吝ノ義ニテ邦言

○饒 音荒。豊オシムト云フ一 ○宗社 宗家ノ社稷 ○謹凜 恭謹肅凜ト云フ一

○洵 詢ト同ジ。マコト訓ズ ○推 ス推シ貴ブ ○邊

將 辺郡ノ大将 ○沙河 流沙河ナリ。天竺ノ界ニアリ ○回蹕 天子ノ還幸ヲ云ヘリ。周礼ノ注ニ謂

○梓宮 梓ノ音士ナリ。梓宮ハ天子ノ棺ニシテ梓木ヲ以テコレヲ造レリ ○帳殿

元明史略訓字海 卷之十 六 二書房

廟前ニ在ル所ノ神  
主ノ祭殿ヲ云ヘリ ○升祔 神主ヲ升セテ祖廟ニ祔祭スルナリ。説文ニ

○修省 身ヲ修メ己ヲ省ミルナリ ○齒此劔 二齒ハ説文ニ口斷骨也ト

春秋鼎盛 天子ノ年老ヲ尊称スルノ語ニシテ俗ニ御年ヲ

撫 遠人ヲ招キ来シ近人ヲ撫テ養フナリ ○懲創 コラシヤブルト訓ジテ惡ヲ

訾 音后此ソシリ。ソシルト訓ズ ○轉徙嘯聚 身ヲ轉ジ居ヲ徙シ

水フカクシテ。山ケハシ ○巢穴 賊ノ居処ニシテ俚言カクレガナリ ○桶岡 桶ハ達童

淵頭 湖ハ郎旬及音練ナリ ○池大髻 髻音賓鬢字ト同ジ ○交 際ナ

有奇 奇ハ教外ノ名ナリ。玉篇ニ。凡數之零余皆曰奇トセリ ○逋寇 逋ハ逃ニテ逃逸ノ寇賊ト云フ

徐揚 二州名 ○蕪浙 二州名 ○武当 山ノ名 ○中土 猶ホ中原中国ト云

○寧府 寧王ノ府ナリ ○露臺 俗ニ物見ト云フナリ ○朝廷

命官及賊敢殺耶 言フハ我ハ苟モ朝廷ヨリ命ゼラレタル官使ナリ。然ルニ及賊輩ミダリニ我ヲ殺サン

トス ○聲言 声ハナラスト訓ジテ猶ホ陽言ト云ガゴト

眷顧ノ屬類 ○勘事 勘ハ考ナリ。府政ノ事ヲ勘考スルヲ云フ ○傳檄 檄ハ徵召ノ誤リ

文ナリ ○楹車 車ノ楹形ヲ為スモノニシテ囚者ヲ容ルノ具 ○捷音 捷報ノ音信 ○回

鑿 天子ノ還幸ヲ云フ。鑿ハ天子乘輦ノ鈴ナリ。説文ニ。人君乘車四馬鑿ハ鑿鈴象聲トアリ ○沮遏 邦訓バツト

○宴坐 宴ハ晏ノ誤リ。晏ハ安字ニ通ズ ○自盡 盡ノ言タル終ナリ。自殺ト同ジ ○陞

元明史略訓字海 卷之十 二書



賞 陞音升。玉篇。上也。進也。トアレバ。殿上ニ進メテ以テ。褒賞ヲ行フヲ。唯賞ト云 ○ カフ 養猪 養音官。養ナリ。礼記注ニ。養牛馬。且。魯犬

豕曰豢ト。見エタリ ○ 刻 スレ。日ヲ約會ニ約定期也。トアリテ。俚言。日限リヲ為スノ謂ナリ ○ 執奏 ス。固ク持論ヲ執テ奏

聞スル ○ 大内 禁中ノ寝殿ナリ ○ 八黨 天德中。内使馬永成。谷大用。劉瑄。張永。魏。批。羅。祥。邱。聚。高。鳳。等

俱ニ吏ヲ用ニ。時ニ。八虎ト稱スト云フ ○ 漢五侯 前漢孝成皇帝ノ時ニ。王太后ノ兄弟五。人。譚。商。立。根。逢。二。爵。関内侯ヲ賜フ。時ニ

王氏五侯ト云 ○ 十常侍 後漢明帝ノ時ヨリ。常侍ノ官十員ヲ置ク。常侍ハ。内宦ニシテ。桓帝ノ時ニ至テ。天下ヲ擅ニシ

百姓ヲ苦シメ。名士ヲ族シ。ソノ毒最モ慘酷ヲ極ム ○ 唐甘露之黨 唐ノ玄宗帝ノ時ニ。李訓。鄭注ト與ニ圖

テ宦者ヲ誅セントス。時ニ。訓。奏スラク。金吾廳ノ後園ノ石榴樹上ニ。甘露降レリ。諸フ上親ラ往テ視ニ。一ヲト。是ニ於テ。上。宦者仇士良ヲシテ。諸宦官ヲ帥キ

テ往テ視シム。至レバ。則チ風来リ。幕ヲ吹キ。啓クニ。又ヲ執ルノ士無數見ユ。士良等驚走シテ。變ヲ告グ。訓直クニ。金吾ノ衛士等ヲ呼ビテ。殿ニ上リ。僅ニ宦者

十余人ヲ擊タシム ○ 漢黃巾 漢ノ靈帝ノ時。鉅鹿ノ張角ナル者。妖教ヲ以テ愚民ヲ誑惑シ。衆ヲ集ル。一數十萬。黃巾ヲ著テ。劫掠

ス。天下一時ニ應ズ ○ 唐黃巢 唐ノ懿宗以來。天下大ニ乱ル。曹州ノ人黃巢。常ニ任使ヲ喜ム。是ニ至テ。衆ヲ聚メ。州縣ヲ攻剽ス。窮

民之ニ。滯ニ。數月ノ間。數萬ニ及ブ ○ 元紅巾 元ノ順皇帝ノ時ニ。穎州ノ人劉福通。乱ヲ作シ。紅巾ヲ以テ号ト為シ。穎州ヲ

陷キル。又蘄州ノ徐壽輝等。妖術ヲ以テ。衆ヲ聚メ。紅巾ヲ以テ号ト為シ。蘄水縣及ヒ黃州ヲ陷キル。天下一時ニ騷然ス ○ 慶寧二

府之變 慶府ハ。安化王寔。錡ナリ。寧府ハ。寧王宸。儉ナリ。二卷ニアリテ。前ニ辨ゼリ ○

晋八王 晋ノ孝惠帝ノ時。趙王倫。淮南王允。齊王冏。成都王穎。河間王顒。東海王越。涼王暉。范陽王虓。タガヒニ。權ヲ争ヒ。兵ヲ奪テ。天下ヲ

擾乱セラル云 ○ 漢召董卓 後漢ノ靈帝。崩シテ。太子辨立ツ。太后ノ兄大將軍何進。尚書録事袁紹ト。宦官ヲ誅セント

ス。太后肯ゼス。是ニ於テ。何進。將軍董卓ノ兵ヲ召ス。ホダ至ラザルニ。何進。宦官ノタメニ。殺サル。卓至テ。辨ヲ廢シ。陳立王ヲ立テ。自ラ争ニ當リ。宮廟ヲ燒キ。都ヲ

二月 卷之十一 一書

遷シ乱霧ヲ啓ク ○叢テ集ナ

世宗肅皇帝

猶豫 未決ノ辞ニシテ、邦訓タメラフ ○度量淵弘 言フハ胸中ノ器局ガ深ク廣キナリ ○

帖然 帖音貼、廣韻ニ林前ノ唯也トアリテ、釈名ニ言フハ帖々トシテ、世ル、ナリトス、因テ按ズルニ帖然ハ首ヲ垂ル、ノ兒タリ ○

詔獄 詔ヲ奉ジテ以テ囚人ヲ鞠スルノ獄ヲ云ヘリ、此名漢時ニ始マレリ ○漢定陶王 漢ノ成帝、定陶王欣ヲ立テ皇太子ト為ス、帝崩ジテ欣即位ス、欣ハ定陶恭王ノ子ナリ、因テ父ヲ追尊シテ定陶恭皇ト為ス ○宋濮王 宋ノ

帝、濮王曙ヲ立テ皇子ト為ス、仁宗崩ジテ後位ニ即ク、曙ハ安懿王允讓ノ子ナリ、因テ允讓ヲ崇奉スルノ典礼ヲ議ス、執政ノ大臣皇考ト称セント欲スルニ、司馬光等交論シテ不可トシ、謂テ曰ク、人ノ後タル者、之ガ子ト為テハ、取テ復私親ヲ顧ズ、故ニ濮王宜シク皇伯ト称シテ、名イハザルベシトス ○

躍然 喜悅ノ危、躍躍スルノ意ナリ ○封還御批 御批ハ帝親ラ事ヲ是非シテ、一褒分ヲ為スナリ、言フハ張璠ノ儀ヲ処分シテ、蔣冕等ニ示スニ、冕等封ジテ之ヲ還ス也 ○儀仗 儀ハ礼儀ニシテ、代ハ兵仗ナリ、兵仗ヲ以テ、ソノ行装ヲ衛ル、礼義ヲ云フ ○啓 啓白ノ義ニテ、ソノ意ヲ通達スルヲ云フ ○徽跡 徽ハ、尔雅疏ニ、表善也ト云フ、アレバ、徽跡ハ、猶ホ表善ト云ガ

ト云ガ ○建醮宮中 醮ハ、僧家ノ壇ヲ設ケテ、一祈禱ヲ為スノ処ナリ ○左道麻衣 左道ハ、道ハ、邪僻不正ノ道ヲ云フ、麻衣ハ、麻ト同シ、財物靡散ノ義ナリ ○倣魏徵 倣ハ、唐太宗ノ貞觀中、魏徵十條ヲ上言ス、ソノ畧ニ曰ク、一言、遠使徵求、ニ言、奢肆思用、人加、三言、縱欲勞人、四言、昵小人、疎君子、五言、貴異物、作無益、六言、不輕與賢、而易、棄人、七言、田獵馳騁、八言、外官奏事、顔色不接、九言、長微、縱欲、無事、興兵、十言、閑中之民、徭役、勞弊、皆言、不如貞觀初政、云々 ○渚 乱ナリ ○瑛 違ナリ ○

國子生 國子監ノ学ト云フ ○禰廟 禰ハ、奴礼反、父ノ廟ヲ云 ○昧死 漢書ノ注

○未  
ニ張晏曰秦以為人臣上書言昧犯死罪而言漢遂遵之トアレバ臣  
下ノ君怒ヲ犯シ上言スルハ心昧ク罪ニ死スト云フ卑辞ナリ

○苞苴  
賄賂贈進ノ物ヲ云ヘリ。曲礼ノ疏ニ曰ク苞苴者以草苞裹魚  
之屬也苴者亦以草藉器而貯物也トアルナレバ名ヲ仮レリ

○不足  
懼者五ッ深ッ足ッ懼者六ッ唐ノ康澄明宗ニ上疏シテ曰ク國家有  
不足懼者五有深ッ可懼者六陰陽不調不

足懼三辰失行不足懼小人讒言不足懼山崩川澗不足懼彘賊傷稼不足懼賢人  
蔽匿深ッ可畏曰民遠深ッ可畏上下相狗深ッ可畏廉耻道消深ッ可畏毀譽乱莫深ッ可

畏直言深ッ可畏聞深ッ可畏不足懼者願陛下存而勿  
問深ッ可畏者陛下修而廢之ト今是ニ取レリ

○大悻  
悻ハ邦訓ハ  
ナサワギ

○卓爾之見  
スグレ立タル  
見識ト云フナリ

○一貫之唯  
論語ニ子曰參乎吾道一以テ  
貫之曾子曰唯ト云ニ取ル

○逆濠  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

○功罪  
勲功ト犯  
罪ト云

○逆  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

○逆  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

○逆  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

○逆  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

○逆  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

○逆  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

○逆  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

○逆  
及逆ノ宸  
濠ト云フ

格物致知

大学ニ格物致知ニ  
有リト見エタリ

功罪

勲功ト犯  
罪ト云

逆濠

及逆ノ宸  
濠ト云フ

○姑貸

邦訓シバラクカスト云フ  
ニテ罪ヲユルスノ義ナリ

○止

只ナ

瑾

及逆ノ

○勁節

勁強ノ節義ト云フニテ氣  
節義心ノツヨキヲ云ヘリ

○饘粥

音梅  
祝邦

訓カユナリ礼記疏ニ  
厚口饘希曰粥ト見ユ

○墓瘞

瘞ハ於計及埋ナリ  
墓瘞ハ埋葬ヲ云フ

○侵漁

前漢  
書ニ

今小吏皆勤愛而奉祿薄欲其毋侵漁百姓ト有ハ里民ノ膏血ヲ貪  
取ルヲ侵漁ト云ナリ漁ハ魚ヲ捕ルガ如キノ義ニ取レルナリ

○過

糴  
過ハ於葛及止ナリ邦言ニ  
買シメ糴ト云フニ同ジ

○宰牛

宰ハ屠  
ナリ

○度僧

僧道カラ  
ント願フ

者ニハ官ニ於テ文書ヲ  
與フ稱シテ度牒ト云フ

○拘文

文法ニ拘スルナリ乃チ固ク文法  
ヲ執リテ刑獄ヲ按スルヲ云フ

袞冕

袞龍ノ服王冕ノ冠  
皆ナ天子ノ冠服也

○裁革

裁断  
革易

○啓聖祠

啓ハ尔雅  
疏ニ跪拜

也ト ○傾軋 訓シテカクムケミグストス六書故夏ニ 車載重軋軋有聲也トセリ軋ハ夷声也

説文ニ齒不相值 音王 ○儕 邦訓トモガラ ○刺血 手指ヲ刺

シ血ヲ以テ奏 漢ノ文帝朝スル毎ニ郎 ○漢文止輦受諫圖 後ノ宮ヲシテ書疏ヲ上

ラシムルニホ夕嘗テ輦ヲ止メテ其言ヲ受ケザルハアラズ言ノ用ユ可ラザルハ之ヲ置キ言ノ用ユ可キハ之ヲ采リホ夕嘗テ善ト称セザルハアラズ

○徒幕 幕府ヲ徒スナリ ○端節 端午ノ節ト云一ニ ○艾虎 歲時記ニ

端午ノ日艾艸ヲ以テ虎形ヲ為リ黑豆ノ大サノ如キ者アリ或ハ綵ヲ剪テ小虎ト為シ艾葉ヲ粘シテ以テ之ヲ戴カシメテ邪氣ヲ辟クト為スト云ヘリ

○不庭 左傳成公十二年討不庭ノ注ニ討ス背叛不來在王庭者ト見エタリ ○間諜 諜ハ伺ナリ言フハ敵間ニ伺

候シテ及報 邦言モノミト云一ナリ ○斥埃 埃ハ候ト同シ ○刁

斗 刁ハ丁聊及前漢書ノ注ニ孟康曰ク銅ヲ以テ鑊ヲ作り一斗ヲ受ク昼ハ飲食ヲ炊キ夜ハ夜行ニ擊ツト古ハ軍中ニ用ユル所ノ具タリ鑊ハ廣韻

二温器三足而有柄 少師少保少傅皆ナ獨官 ○三孤 タリ故ニ三孤ノ官トス ○協守 協カ共守

○供億 左傳隱公十一年寡君惟是一二父兄不能供億ノ注ニ供給也億安也トアレバ天子供御ノ費用ヲ云フ ○静

攝 攝ハ安ナリ靜居安卧ト云フ義 ○黃白之術金丹之藥 漢ノ武帝

君云ク臣ヤ丹ヲ凝シテ白銀ト為シ丹砂ヲ飛シテ黃金ト成シ金成テ之ヲ服セバ白日ニ升ルベシト金丹ハ乃チ不死ノ仙藥ヲ云ヘリ

○端拱 端聖シテ手ヲ拱クナリ ○元陽 元氣陽精 ○歷陳 敷ヘタテ陳言スルナリ

○面縛 左傳注ニ批レバ双手ヲ後口ニ縛シタガ其面ヲ前ニツキ出スヲ云ヘリ 里俗所謂後口手ナルモノナリ或説ニ後口手ハ報ヲ及接ニシ

テ面縛ハ双手ヲ前ニ 音嵐 ○狡捨 但言ワルゴスシト云フ一也

元明... 卷之... 二書

○罔利アリス 罔ハ網ノ畧ニシテ利ヲ婪ルノ網ノ英ヲ捕ルニ比セリ亦夕魚スル羅スルト云ニ同シ ○自信ラマカ 信ハ

スト訓不可シ自任ト云ニ同シ ○沁沁ニ水 胡氏曰ク建議シテ之ヲ白スナリト ○建白

輻輳アツマリ アツマリアツマルト訓ス前漢書ノ注ニ輻ハ聚ナリ言フハ車輻ノ輟ニ聚ルガ如シト云ヘリ輟ハ車輪ノ心中ニ在テソノ中ヲ空ニシ

以テ輻ヲ貫タ所クハ輻ハソノ外ニ濫マレリ ○殿隍猶ホ城濠ト云ガゴトシ 正韻ニ平地有堆阜城濠トアリ又タル雅注ニ城池無水

○大烈大イナル功烈 ○盤據盤ハ磐ト通ス大石ノ名ナリ據ハ依ナリ言ハ大

石ノ依居ノ如シ ○逮係逮ハ捕係ハ繫ナリ ○官校令内言フハ獄官ノ 別言フハ杖吏揚爵ノ妻

子ヲシテ訣別ヲ為サシムルナリ ○全軍覆ス覆ハグツガヘルト訓ジテ敗ルノイヲ云ヘリ ○血戰

血ニマミレテ戰フイヲ云ヘリ ○縋人繩ヲ以テ人ヲ釣リ下口スナリ ○搗

非訓ネギラフ兵士ヲイタルルナリ ○飼食ナ ○燭天燭ハ照ナリ ○沈練沈字

姓氏等ノ時ハ式任及音審ト為スベシ ○堂々崇峻隆高ノ ○人思ヒナラフトガニ 效尤ハ

リ效ハ學ナリ言フハ彼レ過ヲ作シテ我レ之レニ效フナリ ○不靖之漸靖ハ安也治也漸ハ

トシテ土ヲ浸スヲ云フ言ハ民人不治ノ端是ヨリ漸浸スルナリ ○藉借ト ○徒手空手ト云フニ

テト云一 ○醜類北虜ヲ賤シ ○厭厭ニ ○禍慘禍害慘刺ト云

劇ナ ○一腔血腔ハ苦江及腹ナリ腹内ノ心血ト云フ ○疽正字通ニ疽ハ癰ノ

○以羸馬索厚值羸音羸疲ナリ值音直物價ナリ厚値ハ高直ト同ジ ○五奸

奸ハ惡ナリ ○奸大樞奸ハ犯 ○選除エラミスムルノ義ナ

十二 二書

元明... 卷之... 一書...

云フ ○牢<sup>ツ</sup>堅ナ ○揣<sup>カ</sup>知<sup>リ</sup> 揣ハ手ヲ以テ物ノ量数ヲ計ルナリ ○納言 納言ノ官ナリ趙文

率ヲ指ス ○縵<sup>テイ</sup>騎<sup>シ</sup>縵<sup>シ</sup>訪<sup>フ</sup> 縵音低赤色ナリ當時禁兵ノ服ニ赤色ヲ用フ故ニ禁軍ノ士ヲ目シテ縵騎ト称セリ所謂金吾兵

ナリ獨ハ聚訪 ○廠<sup>チ</sup>衛<sup>シ</sup> 屋ノ壁無キヲ廠ト云ヘバ即チ仮リ屋ヲ設ケテ衛士ヲ置キ以テ護軍ヲ増スモノ

ハ問ト同ジ ○聯<sup>ズ</sup>姻<sup>ス</sup> 姻ハ説文ニ婿家也トアレバソノ女ヲ嫁シテ縁ヲ聯ヌルナリ ○瓜<sup>ク</sup>葛<sup>カ</sup> 親戚ノ延蔓スルノ瓜葛ノ蔓ノゴトキ

二聲<sup>ニ</sup> ○忿<sup>フン</sup>起<sup>ス</sup> 忿音紛ナリ高隆ノ兵ハレアガヨ云 ○丹<sup>ニ</sup>心<sup>シ</sup> 赤心ト云ニ同ジ訓

ヘリ ○糾<sup>ク</sup> 糾ノ誤字ナリ ○陳<sup>チ</sup>没<sup>ス</sup> 戦陣ニ没スルヲ云猶ホ戦没關死ト云ガ也 ○私<sup>シ</sup>部<sup>ブ</sup>目<sup>メ</sup>

寄目ハ部兵ノ小長ナリ言ハ私ニ兵長ト奸淫セルナリ ○鹽<sup>シ</sup>政<sup>シ</sup> 海鹽ノ刑ヲ收納スルヲ云フ ○勢<sup>シ</sup>焰<sup>エン</sup>薰<sup>ク</sup>

灼<sup>シ</sup> 言ハ勢ノ烈シキヲ譬ハ火焰ノ物ヲ熱ヘククガゴトシ ○要<sup>ヨ</sup>地<sup>チ</sup> 權要ノ地位ト云フニテ執政ノ官ニ居ルヲ云フ ○

了<sup>リ</sup>然<sup>ル</sup> 意中曉解ヲ得ルノ語ナリ ○直<sup>チ</sup>所<sup>シ</sup> 禁中ニ宿シテ非常ニ備フル所 ○代<sup>ダイ</sup> 代ノ嚴嵩

云フ ○票<sup>ヒョウ</sup>擬<sup>ニ</sup> 票ハ標ノ畧ニテ又夕表ト通ズ擬ハ擬ニシテ凡ソ上言セント欲スレバ先ヅ表文ノ意思ヲ擬シテ以テ草案ヲ起

スノ ○青<sup>セイ</sup>詞<sup>ジ</sup> 表文ノ詞ヲ云フ唐ノ例ニ告文ニ青蒸紙ヲ用ヒ朱ヲ以テ書ス之ヲ青詞ト云ヘリト ○帝<sup>テイ</sup>眷<sup>ケン</sup>

帝ノ眷遇 ○供<sup>キョウ</sup>張<sup>チヤウ</sup>菲<sup>ヒ</sup>其<sup>キ</sup> 供張ハ食具ヲ供ヘ席ヲ張ルナリ菲ハ薄ト同ジ ○強<sup>キヤウ</sup>項<sup>キヤウ</sup> スクビ

ノ強キト云フニテ意氣剛強ミダリニ人ニ俛首セザルヲ云 ○懸<sup>ケン</sup>磬<sup>キョウ</sup> 資糧ノ闕乏セルヲ云フ ○玄<sup>エン</sup>修<sup>シュ</sup> 黄老仙家

ノ学ナリ元玄ノ修法ト云フ義ニテ元玄ハ老子ノ崇称ナリ ○火<sup>カ</sup>發<sup>ハツ</sup> 藥力ノ熱ヲ發スルノ恰モ火ノゴトキヲ云フ ○

裕<sup>イ</sup>王<sup>ウ</sup>載<sup>サイ</sup>屋<sup>ウ</sup> 裕音論 屋音后

穆宗<sup>イ</sup>壯<sup>ウ</sup>皇帝<sup>テイ</sup>

元明... 卷之... 書...

翊賛

邦訓タス

○睽違

睽音奎

○熳

音

○僭擬

僭ハ

ム擬ハナゾラフ言ハ天子ノ儀礼ヲ又スミナゾラフナリ

○羅織

無辜ノ者ニ在テ罪状ヲ作為シ以テ刑ニ処スルヲ羅織ヲ織ルガ如キニ

取ル

○鰲山

蓬萊山ナリ仙ノ住ム処

○乾没

乾ハ干ナリ言ハ民ノ膏血ヲ干ス時ハ

自ラ潤沢尽テ

○聖徳累

累字訓ジテワ

○編氓

氓ハ民ナリ民ヲ編列スル

ヲ云

○武

周ノ武王ヲ云書經ニ武成久商政下見エタリ

○更張

前漢董仲舒ノ語ニ琴瑟調ハサル甚シケレバ

必ラ不解テ之ヲ更メ張レバ鼓スベシ政ヲ為シテ行ハレザル甚シケレバ必ラ更メ化スレバ乃チ理ムベシト云ヘリ因テ政ヲ変ズルニ譬

○繼體

素隱ニ謂非創業之主而是嫡子繼先帝之正体而立者ト云

○雜流

雜錯ノ諸人ト云一ナラザ

ル者

○日偷

シテ偷ハ薄ナリ

○年力富强

年富ミ力強キノ義ナリ

○甲

科

書言故事ノ注ニ批レバ甲科ハ簡策難問ヲ作り列ネテ机案ノ上ニ置クニ試ヲ主ルノ吏意ニ投射シテ之ニ答ヘソノ射策ノ上ナル者ヲ甲ト為

シ次ナル者ヲ乙ト為スナリ

○郷舉

及第ノ者バ之ヲ郷中ニ試ミ以テ舉ルヲ郷舉ト云ヘリ

○在進士

為撫字

書言故事ニ批ルニ第一甲第二甲ノ及第ニハ初ニテ進士及第ト書言故事第三甲第四甲ニハ勅シテ進士出身ヲ賜ニ第五甲ハ同

進士出身ヲ勅賜スト云ヘリ撫ハ慰字ハ慈ナリ

○姑息

礼ノ禮号細人之愛也姑息ハ姑ハ祖也息休也トアレバ假言マニア

ハセト

○低昂

假言アガリサカリト云

○殿最

殿ハアト最ハサキト云義ナリ後漢百官志ニ即

奏其殿最而行賞罰トアリ注ニ課第長吏不称職者為殿其有治能者為最トス

○太倉

天子ノ蔵庫ヲ云

○市

○礦盜

地名

○龍目井化

龍目ハ井ノ名ニテ其泉忽チ変化スルナリ

○順

義王

俺答鞏キニ借偽シテ自ラ王ト称セリ而今ニ統ニ服帝セルヲ以テ順義ノ号ヲ賜フ

○三娘子

娘ハ

十四

尼良及孃ト 同ジトアリ ○奇貨可居言フハ奇ナル貨物ハ貯ヘ居キテ時ヲ俟テ利ヲ射ベシトナリ秦ノ孝文王ノ

時庶子アリ楚ト云フ趙ニ質タリ陽翟ノ賈人呂不韋ナル者趙ニ適キ之ヲ見テ曰ク此奇貨可居ト奇貨ハ庶子楚ヲ以テ貨財ニ譬フルナリ居ハ貯蓄ノ義

ニシテ時ヲ俟テ用ニ適スルヲ云ヘリ ○舐犢之愛己レソノ見テ愛スルノ謙辭ニシテ言フハ老牛ノ犢兒ヲ舐ムルガ

ゴトシ ○質子邪言人シテト云フ時ハ陟利及音致タリ ○按兵按ハ抑ナリソノ意率ネ為サ

トナリ ○大略ハ把漢ヲ指シテ云フ ○漢乃肯全吾孫漢ト云フハ明國ヲ指スノ語ナリ古ハ漢朝ノ匈奴ト和親スルノ故

事ニ取レルナリ吾孫 ○欸邪訓アシラヒナリ ○法宮正殿ナリ ○課吏實

○朝委裘而不亂前漢書ノ注ニ孟康曰委裘若容衣天子幼未立朝事先帝裘衣也トアレバ若少幼中ノ天子父ノ遺業ヲ嗣テ能ク孝道ヲ立ルヲ云フナリ委ハ遺ニテ遺裘ト云フニ

神宗顯皇帝

○廷飭之字典ニ飭ハ勅ト同ジ命令ナリトアレ ○揚テキ

○下大臣二大臣ヲ指ス ○無虞猶ホ無事ト云ガゴトシ ○臺臣臺閣ノ臣ト云フ ○雖欸塞テ

然揚ノ音狄 ○囑之囑ハ託ナリ俗言タノム ○史寔寔ハ丞職及正勅ニ實ト通ズト有ハ史實ハ史職ノ實ト云

塞門ヲ欸テ臣ト称スルノ義 ○通來近來ナリ ○史寔寔ハ丞職及正勅ニ實ト通ズト有ハ史實ハ史職ノ實ト云

○兩廟寔錄世宗穆宗兩帝一代ノ實記 ○剛潤刑音

フナリ故ニ訓ジテマコトナス ○兩廟寔錄世宗穆宗兩帝一代ノ實記

○剛潤刑音

○剛潤刑音

○剛潤刑音



元明史略訓字海 卷之四 二書

ナリ言ハ文ノ悪キヲ削リ以テ潤色ヲ付スナリ ○仗前柱下 唐制ニ殿下ノ兵衛ヲ仗ト曰トス仗ハ劍戟ノ總稱ニシテ

仗前ハ乃チ兵衛ノ前ト云フナリ挂ハ説文楹也トアリテ楹下ハ殿楹ノ下ト云フ義 ○釋官野史 釋官ハ小説家ト云

一ニテ野史ハ戯作者ト云ナリ ○班々 布ト施スナリ ○白燕 詩注ニ色白者數百歳燕也ト云ヘリ

○嘉蓮 拾物叢話ニ荷花有双頭者世人指以爲瑞ト見エタリ ○父憂 父ノ喪ニ居ル一 ○曲ニ

邦訓ツ ○班々 班々ノ誤写班々ハマダラト訓ゼリ ○卞生淚 楚人卞和璞ヲ抱テ

獻ス王之ヲ石ナリトシ其左足ヲ削シテ放ツ武王ノ即位ニ及ヒ和又之ヲ獻ス又ク曰ク石ナリト遂ニ其右足ヲ削ス文王位ニ即クヤ和乃チ璞ヲ抱テ

楚山ノ下ニ哭スル一三日三夜涙尽テ繼グニ血ヲ以テセリ玉聞テ其故ヲ問ハシムルニ和曰ク夫レ宝玉ニシテ之ヲ題ルニ石ヲ以テシ貞士ニシテ之ヲ

名クルニ詠ヲ以テス此レ吾ガ悲ムユエンナリト王乃チ玉ヲ得テ璞ヲ理セシムルニ果シテ名玉ヲ得リ ○蘭生氣 趙ノ

王嘗テ和氏ノ璧ヲ得タリ即チ卞和ガ楚ニ獻ゼルモノ秦ノ昭王十五城ヲ以テ之ニ易ント請フ因テ秦ノ強ヲ畏レ蘭相如ヲシテ璧ヲ奉シテ秦ニ往カシ

ム秦王城ヲ償ニ意無シ相如乃チ給テ璧ヲ奪ヒ怒髪ソノ冠ヲ指ス柱下ニ卻立シテ曰ク臣ガ頭ハ璧ト與ニ碎ケント竊ニ從者ヲ遣ハシ璧ヲ懐テ先ツ歸

ラシメ自ラ命ヲ秦ニ持ツ昭王之ヲ賢ナリトシテ遂ニ歸ラシム ○追之 追ハ都回反音堆玉篇ニ治玉名トセリ ○其

理沈黙 理ハ角ノスガナリ黙ハ黒ニテ深黒ト云ガ如シ ○黃流在中 黃流ハ酒ヲ云

ニ魏攸王鏡黃流在中豈憐君子 ○刻之 刻ハオビヤカスト訓ジテ可ナリ ○服

制在身 在ルヲ云フ ○涵養 涵ハ容ナリ衆ヲ容レ民ヲ養フノ謂ナリ ○祗

席 卧席ナリ ○陵寢 廟宮ナリ ○延袤 延ハ長袤ハ幅ナリ ○常山

恒山ナリ北岳ト号セリ ○蠲 除ナリ ○見年 現年ナリ ○積逋 積タル

元明史略訓字海 卷之四 十六

○帶徵 徵ハ召ナリ賦税ノ後召ヲ帶ブト云義 ○拖欠 拖ハ引ナリ通統又々明年工引クヲ云

○誅求 誅ハ責ナリ ○豪右 豪富ノ民ヲ云右ハ強ナリ後漢書ニ無令豪右得固其利ト見エタリ

催科 科ハ課ナリ課後ヲ催促スルヲ云フ ○四十款 款ハ誌ナリ卷ト云フニ同ジ ○煞 甚ナリ

○出理 理ハ治ナリ出テ治獄ヲ受ルヲ云 ○息 止ナリ ○服闋 闋ハ終ナリ父喪終ルヲ云

○邑庠 邑中ノ學校ヲ云フ ○度民田 言フハ民田ノ制度ヲ立ルナリ

羨田 繩延ビノ田ト云フ ○畸零截補 ス時音奇説文ニ殘田也トス零ハ數外ノ名ニシテ微少ヲ云ヘリ言フ

○視 比較ナリ ○贏田 打チ出シノ田ト云フナリ

○溢額 溢ハ増盈額ハ定數ノナリ ○歩弓 量地ノ數ニシテ三百歩ヲ云フ即チ一里ナリ ○破

拾 拾ハ例格ナリ邦言シキタリト云フ ○丹青 繪画ナリ又夕絳緑トモ云フ ○榜眼 書言故事ニ及第ノ

士第一ヲ以テ狀元トシ第二ヲ榜眼トストアリ ○抄滅 抄ハ掠ナリ ○扞格 アタリワレルト云フニテ人

○彈擊 彈ハツマハシキト云フニテ人ノ過失ヲ責メ各ムルヲ云ナリ ○生負 學生ノ負

○奇節 奇ハ偉前ハ操ナリ言ハ人ニカハリタルミサホナリ ○衣襪 襪ハ邦言クツニク即チ足袋

○躡 登ナリ ○合掌我 合ハ掌ノ俗字ナリ掌ハ如和及指前撰也トセリ ○朕 音鶴城ナリ

○軍膏 軍人ノ膏血 ○當路 當ハ衝ナリ當路ハ孟子注ニ要地也トス要地ハ政權ノ官ニ在ルヲ

○竄耳 竄ハ匿ナリ ○填 テ

○草標 標ハ枝ニテ草花ノ枝ト云フ ○差 邦訓ツカハス ○拉

○神鵲 尋常ノ鵲ニアラス故ニ神ト云フ尚ホ靈鳥ノゴトシ

○朱果 丹色ノ葉

○抄掠 拷ハ打掠ハ答ナリ

○罪人不孥 孥ハ孟子注ニ孥ハ女子

○乞休 致仕ヲ乞フヲ休ト云ヘリ

○言良知 孟子曰ク知ハ心ノ所不

○言主静 老子曰ク大極圖説ニ聖人

○包老 色極字ハ希仁宗ノ仁宗ニ仕ヘ極密副使ニ至ル性峭

○批鱗 天子ニ忤フ一ツ云ヘリ索隱ニ曰ク批謂觸擊之

○孤竹清 伯夷叔齊ハ孤竹君ノ二子ナリ武王ノ

○龍隱 海瑞ガ世ヲ去ルニ喩フ

○華 紂ヲ討ズニ當リ之ヲ諫ムレ瓦器レラレソ遂ニ去テ首陽山ニ餓死セリ

○比干 殷ノ賢士嘗テ紂王ヲ諫メ心ヲ刺レテ死ス

○蕭條 寂寞ノ謂ニシテ俗言モ一少年戀ヲ欲射之鶴乃飛去空中而言曰有鳥有鳥丁令威詩意之ニ取レリ

○賈誼長沙之惜 前漢賈

○冷落 零落ト同ジ俗言ミルカ

○遺逮 使ヲ遣シ

○言主静 老子曰ク大極圖説ニ聖人

下有逆軌徑尺人有嬰之則必殺人主亦有逆軌說之者能無嬰入主逆軌則幾矣ト云ヘリフノ故ニ後人天子ノ怒リヲ謂テ逆軌トスル者ハ是ニ因レリ

○遺逮 使ヲ遣シ

テ、逮捕スルヲ云フ ○領<sup>ス</sup>之<sup>ヲ</sup> 領ハ、黠頭シテ、意中ニ許スナリ。邦人訓シテ、ウナヅクトス。

張氏ノ屍、水底ニ沈シテ、ソノ所在ヲ失フヲ云ナリ ○呈<sup>リ</sup> 露ナリ ○避<sup>レ</sup>嫌<sup>ハ</sup> 嫌ハ、疑ナリ ○驚<sup>マ</sup> 驚ク

神識<sup>シ</sup> 帝ノ能ク奇策ヲ識<sup>ス</sup> 了セルニ驚クナリ ○塵<sup>ト</sup> 塵ハ、莫<sup>ク</sup>皆<sup>ク</sup>及<sup>テ</sup> 説文ニ、風雨<sup>ノ</sup>土<sup>也</sup>ト見エタリ。邦訓ツケカセ

○雞距<sup>ニ</sup> 距ハ、雞ノ後爪ナリ。呼デ、ケヅメトス ○大<sup>侵</sup> 奥野氏曰ク、侵字疑<sup>ラ</sup>クハ、侵ナラシ、韓詩外傳ニ、一殺不<sup>升</sup> 升

○窮甚<sup>ハ</sup> 窮ハ、困ナリ ○買<sup>信</sup> 信ノ義考フル処ナシ。奥野氏、標注ニ掲ケテ云ク、信ハ、砒霜之類、石茶也ト。按スルニ、砒霜ハ、毒石ノ名ナリ ○其家<sup>ト</sup> 其家人ト云フ義

○誤<sup>リ</sup> 誤ナリ ○郷試<sup>ト</sup> 凡ソ及第ノ者、之ヲ郷中ニ試<sup>シ</sup>、以テ貢スルヲ、數問ト曰ヒ、又ク郷試ト曰

○卷<sup>ト</sup> 卷紙ト云イニテ、試策ノ文章ナリ ○雛視<sup>ト</sup> 雛ハ、鳥兒ナリ。言フハ、鳥兒ノ如クニ、卑視スルナリ

○岐<sup>嶷</sup> 岐ハ、魚力及説文ニ、小兒有知也ト。如クニ、卑視スルナリ ○狼<sup>戾</sup> 狼ハ、狼ノ誤リナラン。狼ハ、戾ナリ。戾アリ、岐嶷ハ、山ノ獨秀ナル良ヨ云

○提<sup>督</sup> 提ハ、攜ナリ。行テ軍事ヲ督スヲ云ヘリ ○勾<sup>引</sup> 勾引ナリ。即チヒキルイ ○闔<sup>リ</sup> 閉ナリ ○有<sup>出</sup> 出ハ、生出ナリ ○懸<sup>訓</sup> 訓ナリ ○元子<sup>ト</sup> 長子ト云ニ同

○支<sup>吾</sup> 支吾ト同シ。技梧ハ、人ニサカラフノ意ナリ ○李<sup>昭</sup> 昭ハ、以專及音沿

○精<sup>銳</sup> 精兵 ○葉<sup>繼</sup> 葉字、姓氏ハ、音妾ナリ ○宛<sup>轉</sup> 宛動スル良ヲ云フ

○抵<sup>牾</sup> 抵ハ、觸牾ハ、件ナリ ○偕<sup>同</sup> 俱ト同シ ○景<sup>附</sup> 景ノ形ニ附クガ如シト云フ義

○抵<sup>牾</sup> 抵ハ、觸牾ハ、件ナリ ○偕<sup>同</sup> 俱ト同シ ○景<sup>附</sup> 景ノ形ニ附クガ如シト云フ義

○抵<sup>牾</sup> 抵ハ、觸牾ハ、件ナリ ○偕<sup>同</sup> 俱ト同シ ○景<sup>附</sup> 景ノ形ニ附クガ如シト云フ義

○抵<sup>牾</sup> 抵ハ、觸牾ハ、件ナリ ○偕<sup>同</sup> 俱ト同シ ○景<sup>附</sup> 景ノ形ニ附クガ如シト云フ義

○抵<sup>牾</sup> 抵ハ、觸牾ハ、件ナリ ○偕<sup>同</sup> 俱ト同シ ○景<sup>附</sup> 景ノ形ニ附クガ如シト云フ義

○抵<sup>牾</sup> 抵ハ、觸牾ハ、件ナリ ○偕<sup>同</sup> 俱ト同シ ○景<sup>附</sup> 景ノ形ニ附クガ如シト云フ義

裁量

裁判、量科、〇致歸、致仕シテ家ニ帰ルト云

〇資賚

説文ニ、資ハ貨、賚ハ賜也トス

手勒

手録ト同シ、〇参半

集覽ニ、大半ト同ジ、凡ソ數三分シテ、二分ヲ有スルヲ、大半ト為スト、見エタリ

取

御ト同ジ、馬ヲ御スルヲ以テ、虜ニ喻ヘリ、〇款

〇載

音、音、〇認

言

論語ニ、司馬牛問仁、子曰、仁者、其言也訥、注ニ、訥、忍也、難也、仁者、心存而不放、故其言者、有呼恐而不易發トセリ

〇幻術

妖術

〇呼吸可萬里

言フハ、一氣息ニ、萬里バカリヲ、飛行スルトナリ

〇開礦

取ルナリ

〇畿輔

畿内三輔ト云一ニテ、玉畿ノ地ヲ云

〇從心

從ハ、憑ト通ス、心ニ從ハ、隨也トア

〇躡

至ハ、至子注ニ、躡ハ、頻也トセリ

〇蔓延

綿連スルノ謂、俗言

〇碁

布

碁子ノ如クニ、布陳スルヲ云

〇奴告主者

奴僕ニシテ、其主人ノ隱患ヲ告ルナリ

〇梟

十之三

上告セシ賞トシテ、主家没入ノ貨財ノ十分ノ三ヲ與フルヲ云

〇亡命

奔竄無賴ノ民ヲ云

稍

微ナリ、〇不聊生

聊ハ、安ナリ

〇儼

驚ト通、戒ナリ、〇侵軼

軼、音、越、廣韻ニ、過也、突也トス

〇驕蹇

驕、教ナリ、俗言、アカリ、タカブル

〇脆弱

脆字、廣韻ニ、脆ノ俗字トセリ

脆ハ、此丙及柔ナリ、モロシト訓ゼリ

〇剽

剽ナリ

〇羈

教ナリ、〇覆

妻

〇通一線

線ノ如キ、一小路ヲ通ズル

〇扳藤

貫 漢書注ニ、謂、魚上、采、首尾相銜也、トアレ、貫字ニ、因テ考ルニ、貫ハ、串ナリ、乃チ群魚ヲ、串刺シタル状ヲ、云ニ、幾シ

〇傍徨

猶、排、細ト云ガコトシ、行テ、進マサル、魚ナリ

〇頻年

連年、累年ト同シ

〇宗象

宗ハ、雨雅

象ニ、重也トシ、儀禮注ニ、充也トセリ

〇宗社

宗家ノ社、稷ト云フ

〇土崩

土ノ如ク崩ルト云フコト

○填屋ニ填ハ充ナリ ○我的的ハ助字ニシテ、等字ト畧ホ同ジ ○知道道ハ助字

ニシテ了字ト異ナラズ ○造捏捏ハ擬ト同ジ ○疑似但俗ニ似ヨリト云フ ○拷

訊拷ハ懸答訊ハ鞫問ナリ ○業已ニ字典ニ已ニ然ルヲ業ト曰フトアレバ、業已ハ意志ヲ決スルノ辞バナリ ○

糜粥ナリ、米ヲ煮テ糜爛セシムルノ義ナリ ○膏腴肥厚ノ地ヲ云ヘリ ○扼ス、俚言ジメツケルト云フ意

○孤懸絶懸ノ処ヲ云ヘリ ○藩籬マギキト訓ジテ、城塞ヲ云ヘリ、前漢書ニ北築長城守藩籬如女ト見エタリ

○官民官吏、庶民 ○週回週ハ周ト同ジ ○茫然廣大 ○巨浸

巨ハ大浸ハ漸清ナリ、猶ホ巨浪ト云フカゴトシ ○清苦奥野氏曰ク、清ハ淡泊ヲ謂ヒ、苦ハ憂動ヲ謂フト、即チ潔清勤苦ヲ謂也 ○

例金恒例受入スル金ナリ ○其幾幾ハ換ナリ ○豐亨萬物豊カニシテ、天福ヲ享ル

○朝睦朝ハ脩睦ハ親ナリ、邦言ムツビオサマルト云フ ○凌遲凌ハ丘陵、遲ハ卑下ノ義ニシテ、丘陵ノ

已ニ卑下セルモノヲ事物ノ衰廢シテ振ハザルニ比況ス ○參商書言故事ニ朋友相逢ハザルヲ云トス、夫レ參商ハ二星ノ名ニシテ、

商星ハ一ニ辰星ト云フ、東方ニ在テ、火ヲ司レリ、故ニ又夕、大火星ト稱セリ、參星ハ西方ニ在テ、水ヲ司レリ、故ニ又夕、水星ノ稱アリ、東西隔絶、水火異別ノ理

ニ因テ、人々遭逢セザルノ義ニ引用ス ○暮跼跼ハ盜跼ナリ、古ノ大盜ノ名 ○朝夷夷ハ伯夷ナリ、周ノ大賢士

○胎孕トオナジ ○原金原ハ元ナリ ○樞小爾雅ニ、空棺ヲ觀ト云ヒ、尸有ルヲ樞ト云フト

○所培培養ノ義ナリ ○曹署曹ハ儕ニテ、官吏ヲ指ス、署ハ吏局ノ名ナリ ○除

補官ニ除シ、任ニ補フヲ云 ○籍々師古曰ク、誼聒之意ナリト ○臧否臧否ハ善ニ惡ト同ジ

○排邦訓ガシヒラク ○厭勝俗ニ、マダナヒト云フナリ、厭ハ壓ニテ、壓伏シテ、克ク勝ツノ義 ○

詛咒

邦言ノ口ヒイ  
ノルト云フ

○群喙

喙ハ許穢及説  
文ニ口也トス

○莊田

莊ハ田舎  
ノ謂ニテ

封土ノ田園ト  
云フ義ナリ

○扶掖

説文ニ扶ハ佐  
掖ハ挾扶トアレバ  
邦言タスケカ  
ヘルト云フナリ

○朔望

朔ハ朔日望ハ  
十五日ナリ

○宿望

奮ク人望ヲ被  
フルヲ云ヘリ

○捨不用

捨ハ抑  
ナリ

廊廟

朝廷ヲ云ヘリ廊ハ  
廟制東西ノ廂ナリ

○否隔

否ハ廣韻ニ  
塞也トセリ

○悖出

悖ハ  
逆ナ

リ大学ニ貨悖入財  
又悖出ト云ヘリ

○風聲

玉篇ニ教也トス尚書ノ  
畢命ニ樹之風声ト見ユ

○氣習

二字  
ヲ約

シテナラハシ  
ト訓ジテ可

○簡任

簡ハ撰  
ナリ

○優旨

俗ニアツキオボ  
シメシト云フ

鷲

鷲ハ鳥ノ名ナリ

○闖入

闖ハ丑禁  
及規ナリ

○挺

杖ナリ

○倍休

倍ハ音保ト搭  
ハ擊ト休ハ

倒ナ  
○宿有癩疾

宿ハ舊ナリ癩疾ハ俗  
所謂キチガヒナリ  
正字通ニ喜笑不常顛倒錯乱也トアリ

無倫次

倫理ノ次序  
無シト云フ

○王之寀

寀ハ審  
ノ古字

○龐保

龐ハ  
薄紅

及  
○株連

字典ニ株ハ誅ト通ゼリト  
叙名ニ罪ノ余人ニ及ブラ誅ト  
曰フトアリ誅ハ株ニシテ木根ノ株アルガ如ク枝葉尽ク

落ルニ譬フト  
標記ニ辨セリ

○靈次

靈像ノ次第ト云フ  
靈像ハホ主ナリ

○雁立

ツラナリ  
ト云フ

ノ行列ニ  
取レリ

○決了

決断シ了  
ルト云フ

○班

位坐  
ナリ

○中涓

内官  
ナリ

死

扶治セラレテ  
死スルヲ云フ

○相構

隙ヲ生ズ  
ルヲ云フ

○漁人之利

戦国策ニ  
蘇代燕ノ

為ニ趙王ニ謂テ曰ク臣今日易水ヲ過ルニ鵜來テ蚌肉ヲ啄ム蚌ソノ啄ヲ拊  
ス鵜曰ク今日雨ズ明日雨ズンバ蚌脯有ン蚌亦曰ク今日出デズ明日出デズ  
ンバ死鵜有ント蚌鵜ニ相合テズ漁人得テ之ヲ并擒セリ今趙マサニ燕ヲ  
代ントス燕趙久シク相支ヘ以テ大衆ヲ散ラバ臣恐クハ強秦ノ漁父タラン  
ヤト  
○斷么絶六  
説文ニ么ハ小也トアリ因テ按ズルニ么ハ小數  
ノ謂ニテ第一ナリ而シテ六ハ第六ナリ即チ丙

辰ノ會試ニ及第セシ第一第六ノ名モ除却セラレテ斷絶スト云フ

○災

歎音兼説文ニ食不満足トアレバ即ナハ飢ヲ云ヘリ

○疊入 疊ハ重ナリ

○變陽 變音

○師老 老ハ疲ナリ

○馬

駝 駝ハ駱駝ナリ

○洶々

人心騷然タルヲ水波ノ洶涌スルガ如キニ譬フ

兼程 道程ヲ兼行スル也

○面商 商ハ計ナリ

○方畧 畧ハ謀ナリ

○叩閣 閣ハ中門ノ中

○

嘵 銜ト同ジクシテ恨ナリ

○李琿 琿ハ胡昆反

○征調 調ハ賦ナリ

一

明史之中終

明下

光宗貞皇帝

倬 音卓

○熬毒

熬ハ五牢及説文ニ乾煎也トアリ火ヲ以テ煎熬スルノ謂ナリ今只熬毒ト云考フル処ナシ知ラス一種ノ

物名ヲ指スカ又或ハ食物ノ熬煎不熟ニシテ發毒スルヲ云フカ暫ク後考ニ譲ル

○失怙

父母ヲ失フヲ云詩經蓼莪ノ篇ニ無父

何怙無母何恃トアリ怙ハ恃恃ハ頼ナリ

○瞑 目ヲ閉ルノ謂タリ

○一類

類ハ總ナリ

己 憾ヲ銜ムナリ

○噉

啗ナリ啗ハ利ヲ以テ人ニ餌スルノ謂ナリ

○力疾

集覽ニ勉力帶テ病而起也ト見

エタ ○趣 急速ノ義ナリ

○洩藥

洩瀉ノ薬ナリ俗言クガシグスリ

○委頓

委ノ義タ

ル禾穂ノ地ニ垂ルハナリ故ニ委頓ハ人ノ僂休ニ喩フ

○戚

戚ハ外戚ニシテ后家ノ族ヲ云フ 晚ハ音宛田畝ノ数ニシテ今マ其



義考へ難シト或ハ蓋シ縁ニテ成縁ノ義ナランカ

○交

際ナ

○昌言

頭言ナリ

○趣

ウケカメ促ナリ

○入臨

宮ニハテ臨スルナリ

○誥

誥誤ナラン

○伴讀

侍讀ノ如シ

掖

抱持ナリ

○邀

求ナリ

○冲主

冲ハ効ナリ

熹宗皇帝

乳媪

媪ノ音襖ナリ説文ニ女ノ老稱トアリ

○膽畧

膽カラ以テ策略ヲ為スノ謂ナリ

○嫚罵

嫚ハ侮ナリ

○聞

鳥甲及水門ナリ

○糜帑

糜ハ糜ト同シ散ナリ

○市井鳥

合

四書圖解ニ市中之道四達如井子井路驛集外為市以便交易トセリ鳥合ハ邦訓ヨリアツマリ勢ト云一ナリ卓氏藻林ニ合字離如鳥之集也ト

○掲竿

竹ヲ斬テ旗竿ト為マユフ

○賛畫

賛ハ助畫ハ謀ナリ

○機巧

俗ニ細工

ト云ニ同ジク機具工制ノ一ヲ云ヘリ

○推鑿

推ハ邦訓ツナシ鑿ハノミナリ

○長漆

髹音林ナリ師古曰ク以漆塗

ガバキウルシナリ

○謬

謬ハ詐ト讀ムベシ

○悉

知リ悉セリト云フ

叙録

爵ニ叙シ簿ニ録スル

○降調

調ハ漢書ノ注ニ遷也ト見エタリ

○經略

邦訓ニオ

サメハカル

○蕩平

蕩ハ平ナリ

○右

助ナリ

○賜

音叙

○刺邊事

刺ハ伺ナリ

○較事

較ハ著明ニシテ邊事ヲ著明ニセルノ義ナリ

○自

古有戒

言フハ内官ニシテ外事ニ関シ兵ヲ觀閱スルハ古昔ヨリ禁戒スル処ナリト

○遂靖

靖ハ安ナリ

○自盡

自殺ナリ自尽ト云モノハ毒菜ヲ賜フテ自ラ命ヲ尽サスル義

○幽

囚ナリ俗ニオシコメルト云フコト

○匍匐

ハラバヒト邦訓セリ

○擔溜

擔ハ音炎邦訓ノキ溜ハアマダレナリ

○過失

俗ニオチ ○刺ツル 謗ナ ○墮ス之ラ 娠ヲシテ墮胎セシムルナリ ○箴サ 箴字ト ○

儀衛 宋史ニ批レバ文飾ヲ儀ト云ヒ武備ヲ衛ト云ヘリ ○鍛鍊 言フハ無罪ノ者ヲシテ枉テ罪案ヲ決セントス

ルハ銅錢ヲネリキタフルガ如ク萬方網羅シテ其過失ヲ作為スルナリ ○備極 ツヅサニキワムト訓ズル義ナリ ○

不ク少ク貸ハ 貸ハ寛宥ノ謂ニテ一邦訓ユルスナリ ○公憤 公道ノ憤リト云フ ○責群臣

附和 言フハ羣臣多ク揚連ニ附カスルヲ責ルトナリ ○按 按察スルナリ ○贓私 贓ハ賄ナリ賄賂ヲ

容テ私情ヲ行ナフヲ謂フ ○烜赫 烜音眩ナリ烜赫ハ火気熾盛也 ○朝野 朝廷田野ト云フニテ内外ノ

義ナリ ○群少 群集ノ小人ト云フ ○善類 善良ノ黨類ナリ ○刊黨人 名ヲ刊ハ刊行ノ謂ニテ黨人ノ一名ヲ板刻シテ示スヨ云フ ○殊死戰 殊ハ絶ナリ俗ニ軀ヲス

○生祠 生時ニ祠ヲ建テ祭ルヲ云フ ○祠額 祠頭ノ扁額ナリ ○勒石 勒ハ刻ナリ

○小名 猶ホ幼名ト云ガゴトシ ○落魄 師古曰ク失業無次也ト即チオチブレルト云フ ○歸

命 逆ヲ悔テ順ニ就クヲ云 ○戟門 階志ニ三品以上門皆列戟アリ ○徳善 徳ヲ善ニ

アル人トスルノ謂ナリ ○劫截 截ハ斬ナリ ○大統 皇胤ノ血統ヲ云フ

毅宗烈皇帝

稔シ忠カ賢カ惡カ 稔ハ如甚及字典ニ凡積久者亦曰稔トアレバ一忠賢ガ奸惡ニ恨ミヲ久ク積ムト云義ナリ ○安

置 邦訓オキオクト云フニテ刑人ヲ荒蕪ノ地ニ流置スルヲ云ヘリ ○海氛 海上ノ惡氣ナリ ○度支

唐書ニ度支ハ天下ノ租賦物産豊約之宜水陸道途之利歲計出ス所ヲ掌而メ之ヲ支調ストアレバ度ハ俗ニミツモリト云フニシテ支ハ調へ時フル義ナ

リ、俚言支度向 ○大繼細ハ屈 ○浮スル過ナ ○内供召買

宮内供御ノ物品ゾノ召 ○鹽引引ハ信ナリ、邦人塩切手 ○鼓鑄

銅鑄ヲ消鑿スルヲ云、鼓ハ煽ナリ、アホグト云フ、即チ火ヲ煽シテ、鑄治ヲ為スノ謂タリ、我が邦タラ、フイゴノ類ヲ用ユル義ニ同ジ ○關

課課ハ課賦ニテ、関門稅ト云フ ○瑣屑猶ホ細小ト云ガゴトシ、瑣屑ハ至クズヲ云ヘリ ○推宜推リ

宜ヲ執ル ○承平太平ヲ承ルト云フ ○裁驛站驛ノ穴卒裁ハ裁斷ノ義ニテ、減損ヲ云

ハリ、站ハ、知威及篇海ニ坐立不動、毅トアレバ、駅中久也ノ成、衛ヲ云ヘリ、死ハ、老弱ノ事ニ任エザルヲ謂フ ○仰驛驛ヲ仰ノ

ル侍ナリ、驛ハ糞ト同ジ ○所轄正字通ニ、轄ハ猶ホ管ノゴトシトアリ、管ハ

破ルナリ ○設間間謀ヲ設ケテ、敵 ○詔獄帝旨

シテ、囚ハヲ鞠スルヲ云 ○羸餘ナ ○推步左傳疏ニ曰ク、日月、轉運於天、猶ス

推曆ハ曆教ヲ、 ○灑盧官 ○聲援声言ヲ以テ、援勢ヲ為スナリ、卓氏

エタ ○咨怨咨ハ嗟 ○心計胸中ニ事ヲ計テ、 ○鈎校

鈎ハ鈎ナリ ○功状軍功ヲ録セ ○扼レ之レ ○鄖陽鄖ノ音云

間道間ハ隙ニシテ、俗ニ、 ○撫字字ハ養 ○鄖陽鄖ノ音云

○汜水汜ハ、詳 ○檄調檄ヲ傳ヘテ、 ○慘毒慘ハ痛ナ

酷劇ナル ○驗俗ノ驗字、邦 ○大鍋大ニ字通ニ、俗謂、 ○跳躍

邦訓オド ○蓋屋地名ナリ、蓋ハ、張流 ○勛戚勳臣、 ○乖舛

ソムキタガ  
フト訓セリ

○大舉 オホイニ兵ヲ  
舉ルト云フ

○四正六隅 四個ノ心  
兵隊六個

ノ副兵隊ト云フナランカ其義考ヘカクシ按ルニ正兵ハ本隊ニシテ  
副兵ハ左右ノ翼ナリ夫レ隅ハ角ニシテ所謂左右翼ノ義タル知ル可シ

辨賊 漢書韓信傳ニ多々益辨ト  
アリテ説文ニ致カトス

○烏蠻 黒奴ヲ  
云ヘリ

○譙讓

辞ヲ以テ相責ル 事々ヲ條章シ  
テ上ツルナリ

○勦餉 勦ハ説文ニ勞也トアレ  
即チ民ヲ勞シテ増ス

所ノ餉ト云義ナリ

○閔郷 閔ハ符  
分及

○快々 志ヲ  
得ザ

ル負 トアレバ枵腹ハ  
虚腹ノ義ナリ

○枵腹 枵ハ虚  
文ニ木根空也

軍中ノ鐵

○屬酒 屬ハ付與ノ意ニテ俗  
ニ盃ヲサスト云フ

○踵襲 郭訓フミカサ  
ヌルト云フ

○兩親藩 襄王貴陽王ナリ親藩ト云フモ  
ノハ帝族ニ出ルヲ以テナリ

○聿鏖 音逸  
莫

○決河 決ハ截断ノ謂ニテ俗  
ニキリオトスト云フ

○蕩盡 猶ホ洗盡ト云ガゴト  
ク一物無キヲ謂ナリ

○遺黎 殘遺ノ黎民ト云フナリ黎民ハ  
蒼頭ト云ガ如ク強壯ノ民ヲ云

○星羅碁置 羅ハ列ナ  
リ星ノ如

ク列ナルト云フ漢書ニ楊雄曰ク漢若天星之羅トアリ碁置ハ碁時ト云  
ニ同ジ言フハ碁ノ如クソバダツナリ置ハ玉碁ニ立也トス時ノ意タリ

○遠圖 猶ホ深謀ト  
云ガゴトシ

○灌開封 河水ヲ決シテ開  
封城ニ灌グナリ

○獻陵

世宗ノ父興獻王ノ陵寢ナリ世宗  
即位ノ年王ヲ尊テ興獻帝トス

○篋輿 竹輿  
ナリ

○楚宗 楚ノ宗族  
ヲ云フ

○要害 ツチル雅ニ風雨  
土為害トセリ

○奄有 奄ハ大ナリ詩經周頌  
ニ奄有四方トアリ

○持 自論ヲ持  
スルナリ

○大礮 礮ハ俗ニ  
砲トセリ

漢書注ニ我ニ於ルヲ要ト為シ  
敵ニ於ルヲ害ト為ストアリ

○持 自論ヲ持  
スルナリ

○大礮 礮ハ俗ニ  
砲トセリ

邦訓イシ  
ビヤナリ ○ 蹶 ツマツク ト訓ズ ○ 闔家 闔ノ謂タル総合ナリ。猶ホ、拳家ト云ガ如シ。 ○ 國

君死ス ニ曲礼ノ注ニ死ニ社稷謂國亡也トアリテ國 ○ 火 君タル者ハ國難ニ死スルヲ以テ正義トセリ

車 車砲 ○ 蒺藜 敵ヲ防グノ具ニシテ。鐵ヲ以テ之ヲ製シ。濠内城端等ニ列植セルモノ。蒺藜ハ固ト艸名ニシテ。和名ハマビ

シト云フ。其子三角ニシテ人ヲ刺ス。故ニソノ似タルヲ以テ名トス ○ 鹿角 亦敵ヲ防グノ具。ソノ製。連枝木ヲ以テ。鹿角ノ如クニシ。管

外ニ樹ツ。故ニ名ヲ得。 ○ 鉛子 彈丸 ○ 烽火 邦訓ノロシ。敵ノ来ルヲ相報ズル機具

ナリ。火ヲ拳テ以テ告ルヲ烽火ト云ヒ。ソノ烟ヲ望ムヲ燧ト云フ ○ 徹天 徹ハ達ナリ ○ 公主 天子ノ女

ナリ ○ 昧爽 俗ニ夜ノヒキアケト云フ。書經太甲ノ疏ニ昧ハ是レ晦冥爽ハ是レ未明ト云ヘリ ○ 涼德

藐躬 涼ハ冷涼ノ義ニテ。不徳ト云フ。藐ハ菲薄ノ義ニテ。微躬ト云フナリ ○ 氈笠縹衣 氈笠ハ羊毛ヲ以テ

作レルモノ。乃チ卷人ノ首服ナリ。又禮帽也。ヘリ。縹ハ説文ニ帛青白色トス。即チ淺青ナリ ○ 駮 玉篇ニ馬色不純也トアレバ。原文烏駮

ハクログブチ ○ 柳棺 賤者ノ葬具ナリ ○ 斬衰 衰ハ縗ノ畧ニシテ。音細喪服ノ名ナリ ○ 縞素 縞ハ白ニテ素ハ朴ノ義。乃チ

張皇 皇ハ大ナリ ○ 金毓峒 毓ノ音。音ナリ ○ 縞素 縞ハ白ニテ素ハ朴ノ義。乃チ

白麻ノ衣ト云フ ○ 頓 也ナリ ○ 賁 音ナリ ○ 斫 斫ハ苦感

ニシテ喪服ナリ ○ 修辱 修ハ戮ト同ジ。殺戮セラレテ辱シメテ受ルト云フ ○ 眦裂 眦ハマナジリト訓ズ。マナジリヲ裂クトハ激怒

ノ甚シキ ○ 奮楯 漢ノ張良。韓ノクメニ。雙言ヲ報セントシテ。鐵楯ヲ以テ。秦皇ヲ博浪沙ニ撃チシ故事ナリ

○ 雉髮 薙ハ剃ノ義タリ。剃髮シテ清軍ニ擬スルナリ ○ 整肅 整ハ正。肅ハ嚴ナリ。猶ホ。謹嚴ノゴトシ

逸 逃ナリ ○ 晋爵 晋ハ進ト同ジ ○ 漢宮 明ヲ指シテ。漢宮ト云フモノハ漢ノ異方ニ於ル其和親ヲ

通スル最モ久ク積ムガ故ナリ因テ異方ヨリ支那ヲ呼ブノ  
通称トナレリ我が邦尚ホ漢ト呼ビ唐ト称スルモ即チ此意

○ 竣事 髪ヲ除テ清國ノ制ニ遵ハシムルナリ

○ 清主 世祖章皇帝

帝由松

○ 曲解 曲ハツブサト訓シテ委曲シテ心ヲ尽スノ謂ナリ解ハ和解ヲ云フ

○ 戮力 戮ハ勦ト通ス勦ノ義タル合カナリ

○ 自明無他 他念ナキイヲ自ラ辨明スルナリ他念ハ異心ヲ云フ

○ 聯給 ツラネマトフト訓シテ鎮兵陸續シテ絶エザルヲ云

○ 標下 旗下ト云ニ同シ字典ニ標ハ旌旗トス

○ 响應 响ハ響トス同シ

○ 金花銀兩 金花ハ黄金ニシテ金幣ナリ銀兩ハ白銀ニシテ銀幣ヲ云ヘリ兩ハ

○ 崇禎朝 崇禎ハ毅宗帝ノ年号

○ 黄澍 澍ニテ斤量ノ義タリ皆閩浙ノ民ニ賦課セルモノ

○ 出直 宿直ヲ出ル

○ 福邸 福王ノ邸宅

○ 優間 優裕間暇

○ 黜然 黜ハ黜ト同シ

○ 趨 ウツガシトナリ

○ 舉措 處置ノ義ニテ俚語ニトリア

○ 點金 金ヲ點檢スルト云一。點檢ハ一々シラベルト云一

○ 宗儉 俗ニテヒドキ儉約ト云一

○ 節省 節儉ニシテ費用ヲ省クノ謂ナリ

○ 翼戴恩 初メ南京府ノ諸臣會議シテ帝ヲ推戴シ因テ以テ

○ 餉額 額ハ定ナリ限ナリ

○ 淮撫 淮安ノ巡撫使ナリ

○ 試業 試ナリ

○ 廩生 諸生ノ廩米ヲ受ル者ヲ云フ

○ 戮 戮ス

於市 方異明何光頭二  
人ヲ戮スルナリ

○比聞 比ハコノゴ  
口ト訓ズ

○稱舉 アゲ  
ナリ

效包胥之哭 戦国ノ時、呉王闔閭、楚ヲ撃テ之ヲ亡ス。楚ノ臣、申包胥、  
秦ニ走テ急ヲ告ゲ、ソノ楚ヲ救ハンヲ乞フ。秦伯不聽。

○感 心ニ  
酪ス

色齊秦庭ニ哭スル一七日、夜、飲食ロヲ絶ウ。秦伯之ヲ哀ミ、遂ニ  
軍ヲ誘シテ、楚ヲ救フ。具ノ師大ニ敗レ、楚復夕國ヲ立ルニ至ル

スルノ  
謂ナリ ○豹貅 旌旗ノ名ナリ。曲礼ニ、前ニ豹、後ニ  
貅アリ。注ニ、兵車ノ旗、豹貅ヲ画キ、形象威猛ナルハ、衆ヲ

シテ、警備ヲ  
知ラシムト ○梟獍 梟ノ音、敬。孟原曰ク、梟ハ鳥ニシテ、母ヲ食ヒ、獍ハ  
獸ニシテ、父ヲ食フト。以テ、軍卒ハ、猛烈ナルニ比

况セリ、迷異記ニ、梟之為、獸、  
狀如、虎豹而小也ト云ヘリ ○方擬 ス擬ハ、度  
ナリ

○寔 是ト  
同ジ

○國 是ト  
同ジ

家 清朝ノ國  
家ヲ指ス ○征繕 左傳注ニ、征ハ賦也。繕ハ治也トセリ。  
魯野氏曰ク、賦、車馬治置也トス

敝賦 魯ハ、兵ナリ、賦ハ、兵ナリ、言フハ、故國ノ兵ヲ尽ストナリ、真  
野氏曰ク、古ハ、田賦ヲ以テ、兵ヲ出ス、故ニ兵ヲ謂テ賦トス

○冠 ツツテ  
ス

○惡 惡ハ、他徳  
及惡ナリ

○薄海 俗ニ同ジ、四海ト云フニテ、天下ヲ共ニスルト云  
義ナリ。書經ニ、外薄四海トアリテ、薄ハ被ナリ

○為前導 閩賊李自成ヲ導者  
ト為ントスルヲ云

○受制潢池 潢池ハ、猶ホ小  
池ト云ガゴト

○著龜 著ノ音、尸、メドキト訓ス、今ノ筮竹ナルモノ、是ナ  
リ。龜ハ、古音、其甲ヲ燒テ、以テ吉凶ヲト考セリ

○削號 削  
ヲ

○虞賓 書經、虞賓在位ノ注ニ、虞賓、丹朱也、堯之  
子、為賓、於虞、猶微子作賓於周也トス

○在 帝号ヲ削リ  
去ルナリ

○瞬息 一瞬一息ト云フニテ、  
其短促ナルヲ云ヘリ

○南極 南斗南極ト云ガ如ク、中華ヲ、誇稱スル  
ノ辭ナリ、卓氏藻林ニ、斗南謂中國、天地

也トス、極ハ、極星  
ト云フナリ

○凶信 信ハ音信ナリ、喪  
ヲ告ルヲ云ヘリ

○肆法於市

朝言フハ法屍ヲ市朝上ニサラスナリ約會ニ既刑陳尸曰朝トシ又久周礼注ニ凡獄人者路諸市肆之三日ト見エタリ○奚何ナ

○泄々者李巡曰ク皆黨惡ヲ殺法則也ト按ズルニ泄々ハ詩傳ニ多人貌トアレバ猶ホ群衆者ト云カ如キニ似タリ

附膺附ハ小擊膺ハ胸ナリ○愿願ナ○逆成逆賊李自成ト云○舉動

俗言フルマヒト云フコト○振古鏢詩經周頌振古如茲ノ注ニ振ハ極也トアレバ蓋シ太古ノ意ナリ鏢ノ音灼ナ

リ揚子方言ノ注ニ光明也ト見エタリ○頂禮首ヲ低レテ礼拜スルナリ○加額双掌ヲ額上ニ加ヘテ礼拜ス

ルヲ義ヘリ○共主天下共ニ主トスルノ義ナリ○青宮太子ヲ云フ又夕東

宮氏云ヘリ青ハ東方ノ色ナリ故ニ稱○大一統漢ノ董仲舒ガ對策ニ春秋大一統者天地之常經古今之通誼也ト云ヘリ

○昇沸昇湯ノ沸騰ナリ以テ世乱ニ譬ヘリ○紫陽綱目朱子ノ通鑑綱目ナリ朱子世々紫陽山

下ニ住セリ故ニ云○踵繼ナ○丕魏ノ曹丕○昭烈蜀ノ劉備ナリ昭烈皇帝ト諡ス

山陽曹丕蜀ノ後帝劉禪ヲ以テ山陽公ト為ス○懷愍西晋ノ懷帝熾愍帝ト云フ○晋元

東晋ノ元皇帝瑯琊王ヨリ○徽欽宋ノ徽宗帝信欽宗帝植ヲ云フ○蒙塵

天子戰乱ニ遭フヲ云フ○宋高南宋ノ高宗帝徽宗ノ子ニシテ北宋ノ統ヲ繼ゲリ○遐遠ナ

膺受ナ○膺難膺ハ當ナリ○規幅員規ハ計ナリ詩經ノ注ニ幅ハ猶ホ辺幅ト云フガ

コトクトアリ員ハ○敷天普天ト○牛耳之盟封字彙ニ盟

ハ血ヲ歃テ以テ信ヲ結フ也トセリ夫レ盟ヲ主ル者牛耳ヲ執リ坎ヲ掘テ牲ヲ埋メ載書ヲ加ヘ之ヲ埋没ス言フハ盟ニ背ク者ハ此牛ノ如クニセントナ

リ封ハ土ヲ以テ牲ヲ封○盤盂物ヲ盛ルノ器ナリ曲礼ノ疏ニ牲ノ左

載シ丘ノ如クスルノ義



○從事盟事ニ從ハ ○疊見疊ハ重ナリ ○告災天火ヲ災

ト云 ○魚シ侵取ナリ ○火酒燒酎ナリ ○伶官樂官ナリ古ノ樂師ヲ伶倫ト云フ樂官ヲ掌シリ

故ニ後代樂官ヲ稱シテ伶官ト云ヘリ ○一王子多尔袞ナリ ○投鞭問渡秦ノ符堅大將ヲ議人或人謂ラク晋ハ長江ノ險アリ容易ニ攻ム可ラスト符堅曰ク吾方衆ヲ以テ鞭ヲ江中ニ投ゼバソノ流シヨ路ツ可シト是故事ヲ引ケリ

○赤壁三萬孫權周瑜が謀ヲ用キ兵三萬ニ將タラシメ魏ノ八十五萬ヲ赤壁ノ下ニ邀撃シソノ艦艘ヲ燒テ之ヲ殲ス曹操單身ニシテ僅ニ脱出セリ ○肥水八千八千恐ラクハ八万ノ誤リナラシ秦ノ符堅長安ノ戍卒六

十萬騎兵二十萬ヲ發シテ晋ヲ侵ス晋ハ方ノ兵ヲ以テ之ヲ拒ヤ大ニ秦兵ヲ肥水ニ破ル秦兵ノ敗走スルモノ風声鶴唳ヲ聞テ皆以テ敵ニ至ルトナス

○廓清底定廓ハ爾雅釈ニ大也トシ底ハ字典ニ與也通トアリハ厥焉シテ定ムルト云テナリ ○刻

厲心ヲ刺ミ氣ヲ厲ム ○大者王トシナル 小者侯漢書ニ高帝田橫ヲ召シテ曰ク横来レ大者王小者侯ト注

ニ曰ク大者謂其長率即橫身也小者其徒屬也ト一説ニ大ニシテハ王ト為シ小ニシテハ侯ト為スノ謂ニシテ必ズ主屬ヲ指スニハ非ズト此説殆ト得タリ ○茅土領地ノ如シ漢制ニ天子大社以五色土ヲ為壇封諸侯者取方面土置以茅茅殺之故謂之為茅土ト云ヘリ

如帶如礪漢書功臣表ニ封爵之誓曰使黄河如帶泰山如礪國以永存也帶衣帶也礪砥礪石也河當何時如衣帶山當何時如礪石言如帶礪國尤永存以及後世之子孫也トセリ ○崑崙專ナリ

梨園唐ノ玄宗別ニ左右ノ教坊ヲ置キ以テ俗樂ヲ教ヘシム又夕樂工官女數百人亦夕梨園ノ弟子タリ ○令節佳節ト云フニ同ジ ○吳适适音活ナリ ○維

新詩經ニ周虫曰飛其命維新注云周國虫曰至其文王能新其德以及於民而始受天命也トセリ ○揆ス 人才揆ハ

リ言フハ其事ヲ考察  
シテ實ヲ得ルナリ ○ 奠定ナ ○ 享饗ナ ○ 寓寓舎セシムルヲ云

識認俗ニミトメシルト云フ ○ 詐冒前漢衛青ガ傳ニ冒姓衛氏ノ注ニ冒為假稱若人首之有覆冒トアリ

外稱外ハ表ナリ言フハ本名ヲ表稱スルナリ ○ 根究根揆ヲ推究スルナリ ○ 蔚氏ウツ

縣蔚音地名ハ新物及 ○ 敵體敵ハ玉篇ニ對也トセリ對縣ハ仇儻ノ謂ナリ ○ 詛罵詛ハ怒謗ナリ

○ 瘦死瘦ハ瘦ナリ漢書ノ注ニ蘇氏曰ク瘦病也囚徒病律名為瘦ト ○ 托託ト同ジ邦言カコツケルト云フ

○ 上游上流ト同ジ邦言カハカミナリ ○ 朦蔽朦昧ニシテ明ヲ失フノ謂 ○ 懇ネンゴロ

ト訓ジテ俗ニ心付ルト云フナリ ○ 淑女淑ハ善良ナリ詩經ニ関々淑女君子好求ト見エタリ ○ 諛正字通ニ

俗借テ諛當ノ稱ト為ス猶ホ宜ト言ガゴトキナリトシ又字典ニモ凡ソ事此ノ如クナルベキヲ云トセリ ○ 血奏指血ヲ以

テ奏書ヲ草スル ○ 媳本音昔ナリ息婦ヲ云フ故ニ通ジテ息ト作セリ ○ 黔兵農兵ナリ秦ノ時丁壯ノ民ヲ黔首ト云

○ 辦力勉ナリ ○ 襍聖襍ハ雜ナリ ○ 承大鼎大鼎ハ室鼎ノ謂ニシテ天子

大位ニ登ルヲ云フ ○ 障蔽蔽ハ蔽ナリ ○ 櫻恐ラクハ櫻ノ誤写ナラシ櫻ハ邦訓カナルナリ ○ 桎

梏徐洵曰ク械在桎ニ曰梏在桎曰梏ト ○ 杼皇猷杼ハ伸皇ハ大猷ハ謀ナリ ○ 嫌疑ナリ

經綸猶ホ經緯ノゴトシ目家ヲ治ルノ謂ナリ ○ 坼裂ナリ ○ 賒ハカ類篇ニ遠也トセリ ○ 片

雲南下多尔家ニ召レ南州ニ下ルヲ云 ○ 寸丹冷魄一寸ノ丹心冷涼ノ魂魄ト云フニテ零

落ノ状ヲ云ヘリ ○ 蕩作寒烟蕩ハ解散ノ謂ナリ言フハ丹心魂魄ノ氣解散シテ只一縷ノ寒烟トナルナリ即チ身死

スルニ譬フ ○ 不磨楊子方言ニ摩ハ滅也トアリテ摩ハ磨ト通ズ即チ俗ニズリヘラスト云フ ○ 披携ナリ

元明... 卷之... 二書

持ノ  
義

帝聿劍

劍音  
招

歿

夫ノ本字邦訓  
口カジニナリ

○錮

禁錮ナリ  
重囚ノ謂

○率直

率ハ集韻ニ從也自也ト  
アレバ己レガ直ニマカ

セテ物ニ拘系  
セザルノ謂

○膏

若等  
及

○杜後起

言フハ後日兵ヲ起シテ  
天下ヲ争フ者ノ心ヲ杜

グナ

○敷求耆碩

敷ハ普ナリ耆ハ六十歳  
ヲ云ヒ碩ハ充實ナリ

○票上旨

票ハ標ニ  
シテシル

スト

○濟々然

衆盛ノ兒ヲ云詩經大  
雅ニ濟々多トアリ

○諉

音楚ナリ正韻賤ニ  
諉譏也トアレバ

即チユダヌ  
ル義ナリ

○例

俗ニシキタ  
リト云イ

○如寄

字典ニ教ニ率ハガル者  
ヲ遠方ニ屏退スルヲ寄

ト曰フト  
見エタリ

○烜赫

烜ハ况遠及玉篇  
ニ大盛ノ兒トス

○落魄

漢書注師古曰ク失  
業無次也トアリテ

俗言オチブ  
レルト云イ

○倭婦

肥前平戸ノ士人  
田川氏ノ女ナリ

○倣儻

倣ハ他歴及個  
ト同ジ卓然ト

シテ衆ニ異  
ナルヲ云フ

○頽敏

玉篇ニ頽ハ未赤也トアリテ  
衆類ヲ技出セルノ謂ナリ

○駙馬

公主  
ニ尚

スルヲ駙馬ト云公主  
ハ天子ノ女ヲ云ヘリ

○築塹

城ノ築キ塹  
ヲ穿ツナリ

○抄掠

抄ハ鈔ト  
同ジ取ナ

○流寓

流轉  
寄寓

○原任

本官ト云  
ニ同ジ

○孫珽

珽音覺  
ナリ

星馳

星ヲ載テ馳行スト云イ  
ニテ其早行ヲ云ナリ

○藩服

藩土ト云ニ同ジ服ハ荒服要  
服ノ義ニテ服從ノ謂ナリ

○鳩集

鳩ハ群聚  
ノ謂ナリ

○鞭長不及

古語ニ鞭長不及馬服下言フ  
ハ馬鞭長シト策之ヲ用レバ

ソノ服ニ違セザルナリ以テ  
事ノ為ス可ラザルニ譬ヘリ

○朝秦暮楚之客

戰國游說ノ士  
朝ニハ秦ノ為

ニシ暮ニハ楚ノ為ニシテ其權謀ヲ行フ  
實ハ皆己レ  
カ為ニス故ニ機変ニ隨テ向背ヲ易ス朝夕量ラレズ

○娼優

娼訓  
ワザ

元明... 卷之... 二書

才ギ ○廝隸 廝ハ隸隷ハ僕ナリ ○疲瘵 瘵ハ病ナリ ○公車 漢官儀ニ曰ク公車

ハ殿司馬門ヲ掌レリ。天下ノ上事及ビ徵召皆テ之ヲ統領スト見エタリ ○准陰故事 漢ノ高祖蕭何ノ言ヲ用テ日

ヲ撰ミ齋戒シ。壇ヲ築テ韓信ヲ拜シ。大将軍トス。韓信後ニ淮陰侯トナル ○空劄 劄ハ札ト同ジ ○相機

相ハ察視機ハ機変ナリ ○予告去 ル官ニ居テ事ヲ視ザルノ謂 ○艘 舟ノ總稱ナリ ○扞

衛ナリ ○羸 羸ハ弱ナリ ○端 端ハ速ナリ ○拜表 通鑑注ニ拜上表不及間詔命而遂行謂拜表ト見エタリ

○唆 唆ハ桑何及ノ義ナリ ○灶 音躁俗ノ竈字ナリ ○倏然 忽ナリ ○振 メテ收ナリ

追扈 扈ハ後ニ從ナリ ○殊示 殊ハ音諸ナリ殊示ト云フハ朱書ナリ ○商 商ハ度ナリ ○曝

晒ト ○家眷 一家ノ眷屬ト云フ ○兵丁 兵卒ト云ニ同ジ丁ハ丁壯ノ義ナリ ○薦紳

縉紳ト同ジ公卿貴族ノ類ヲ云フ ○不勝天 兵書ニ孫子曰ク人定勝天トアリ ○以貳 貳ハ二ニ云

フ一 ○一彼一此 孟子曰ク彼一時此一時ト注ニ彼前日此今日也トセリ ○本愿 愿ハ願ナリ

○儒巾 儒生戴ク所着服ナリ ○襴 類篇ニ衣與裳連曰襴トセリ。綱目集覽ニ馬周以三代布深

衣因テ其下著襴及裾名曰襴。衫以爲士之服ト見エタリ ○文廟 孔子ノ廟ナリ唐ノ開元中贈諡シテ文宣王ト云 ○先

師 孔廟ニ并祀スル所ノ顔曾等ノ弟子ヲ指ス ○南澳 澳ハ音郁ナリ字典ニ崖内近水之處トアリ ○收

拾收スル ○文移 檄文ヲ傳ヘ移スノ義ナリ漢書注ニ文書移於屬縣也トセリ ○罪臣國

姓 國家安乱糾正スル能ハザル自ラ責テ罪ヲ國家ニ得ル臣ト云義ナリ朱成功曩ニ國姓ヲ賜ヘリ

帝由榔

府署 署ハ官府ノ舍ナリ ○行宮 天子ノ旅館ヲ云フ ○錫乙六 ○號遠近

號令スルナリ ○纂蕭牆 詩經ニ兄弟鬩蕭牆トアリテ蕭牆ハ藩籬ナリ兄弟藩籬ノ中ニ鬩鬪スルヲ纂隙ト云フ

肅 嚴ナリ ○誕 大ナリ ○脅劫 邦訓オビヤカス ○嬰 カノルト訓ジテ嬰城嬰守ハ但言籠城

ト云フナリ ○哺之 哺ハ食トオナジ ○固圉 圉ハ御ナリ御寮相通ス言フハ防禦ヲ固ムル也

底定 底ハ止ナリ ○國士 一國無及ノ士ヲ云フ ○播越 播音巴遷移ナリ

襍處 雜居ナリ ○左右禁近 禁内ニ近侍セル左右ノ内官ナリ ○露所 露宿

ジク曝露ノ義ナリ ○皇々 字典ニ皇有求而不得之意也ト見エタリ ○周章 六書音義ニ怔營ノ兒トアリ

テ邦言アハテルト云フ ○金圖書 金印ナリ ○石室塵卦 卓氏藻林ニ柳史中丞ニ石室

アリ以テ秘書ヲ藏ストイヘリ塵封ハ俗言塵ニトヅルト云フ ○歸順 逆心ヲ轉ジテ正義ニ就クノ謂ナリ故ニナツキシタガフ

ト訓ジテ可ナリ ○戒舟 戒ハ猶ホ命ノトシ ○容人鼾睡 鼾睡ハ邦訓イヒキト云フ宋

ノ太祖曰ク天下ハ一家卧榻ノ側ヲ豈他人ノ鼾睡ヲ容ニヤト即チ此語ヲ引ケリ言フハ他ノ賊輩ノシテ封域ニ容レシメザルナリ ○部

勒 勒ハ抑制ナリ部伍ヲ御使スルノ謂タリ ○執鏡 鏡ハ牙 ○威稜日愴

後ハ角ニテ勢威ノ圭角ト云フ愴ハ感ナリ漢書ニ威稜愴乎邦國ト注ニ愴猶勅ト ○廣和 廣音廣次ナリ詩韻

詩韻ヲ知スルナリ ○頭絲 頭上ノ白髪ト云フ ○公等眷 眷ハ親屬ナリ ○失律

律ハ法度ナリ ○懷慄 懷ハ驚慄ハ懼ナリ ○擗 陟瓜及馬鞭ナリ ○傳矢 傳ハ着ナリ注ナリ

○堪 擊ナリ ○發 音妬弓ヲ引クナリ ○頓 屯ト同ジ ○跌宕 跌宕音盪ナリ跌宕ハ氣

勢過越ノ  
兒ヲテフ ○老疲ノ ○雉堞城上ノ壁牆ナリ。マタ女牆ト云フ ○堵禦堵ハ垣ナ

リ垣ノ如クニ并立シテ禦グト云フ義 ○敵樓城樓ナリ。敵ヲ望ムノ樓ト云フ義ナリ ○自若俚語ニオチツクト

云フ ○郭城ノ外郭ナリ ○砍カス之斬ナリ ○高俎俎ハ肉ヲ薦ムル具ナリ。清主。

芝龍ナ高俎ニ寘クモノハ薦肉ノ如クニセントスルノ意ナリ ○淫畧淫ハ過ナリ。貪ナリ。畧ハ奪ナリ。取ナリ。凡ソ道ヲ以テ取ラ

ザルヲ畧ト云フ ○金門金馬門ナリ。官宦ノ居署ナリ ○給贍贍ハ時給及助ナリ ○解纜纜ヲ

纜ハ舟綱ナリ。邦訓トモゾナ ○部署毎部ニ名ヲ署シテ。隊伍ヲ分定スル ○習流涸泳ニ習ヘル兵ヲ云ヘリ

○鑣人鑣騎ト云ガ如ク。猛取ナルル堅鑣ノ如キニ譬フ ○颿音凡。帆ト同ジ ○老營本營ナリ

○機宜臨機ノ便宜ト云一ニテ。俗ニテハゾト云一ナリ ○亂揚子流ヲ絶テ渡ルヲ云

度俗ニミツモ ○先聲聲言ヲ先ニスト云一。孫子曰ク。先聲而後實。 ○戟手左傳注ニ。抵手。屈肘如。戟形トアリ

○進進ハト同ジ ○不諳水水技ヲ曉ラザルナリ

眩暈眩ハ。説文ニ目無常主也ト云。暈ハ音運。日旁氣ナリ。邦訓ママヒト云フ一ナリ ○第史記ノ注ニ且也但也ト見エタリ

○曲隅ナ ○層巒重峯ナリ ○巨浸大澤ナリ。澤ノ総稱ヲ浸ト云ヘリ ○周

衰衰ハ長ナリ ○孤嶼嶼ハ象舌及嶋ノ小ナルモノ。瀛ハ以成及外洋ヲ云ヘリ ○並

耦周礼ノ疏ニ兩人耕ヲ耦トアリ ○盤踞盤ハ蟠ニテ踞ハ据ナリ。俗ニオチツクト云フ一ナリ ○振

舵ヲ換ハ入声ニ讀ムベシ。舵ナリ。通シテ舵ト作ス。舵ハ控ニテカギナリ ○眠眠ハ

リ。鷓首ハ舟頭ヲ云フ。鷓ハ鳥名ニシテ古へ舟首ニ之ヲ列成セリ。故ニ稱トセリ ○紅夷紅毛夷ト云フ一ニシテ荷蘭ノ別稱

○寧宇 寧ハ安宇ハ居ナリ ○珍瑤 珠玉ナリ ○天末 宇宙ノ最端ト云義ナリ ○

披猖 披ハ綴猖ハ猛ナリ ○銷 錄ナリ ○辟刑極 辟ハ明ナリ ○丁庸

丁ハ丁世庸ハ備ニテ後夫ナリ ○物土方 物ハ相度ルノ謂ナリ言フハソノ土地ヲ相シ宜ニ随テ種植ノ方ヲ度ルナリ

○監殺 監臨シテ以テ自殺セシムルナリ ○卦 卦ト通テ喪ヲ告ルナリ ○桑梓計

父母ノ郷ヲ保ツノ計ト云ナリ詩經小旻ニ維桑與梓ト注ニ桑梓ハ二本ノ名ニシテ古者五畝ノ宅之ヲ墻下ニ植テ以テ子孫ニ遺シ葦食ニ給シ器用ニ具スト云ヘリ故ニ子孫ノ計ヲ云テ桑梓ノ計トス ○炤明ナ

○逡巡 行ハ進見邦訓シリゴミ ○

稅甲 稅音脫ナリ意モ亦同ジ ○爛 糜爛スルト云ナリニテ民ノ散亡スルヲ云 ○修菟裘 菟裘ヲ

與野氏曰ク菟裘ハ地名恐ラクハ箕裘ナルベシト祖父ノ基業ヲ承グヲ箕裘ノ業ヲ受クト云礼記ニ見エタリ ○易 子孫ノ

穀騎 馬軍弓手ノ兵ヲ云 ○蠻母山 蠻ノ音候ナリ ○鞞藉 正韻ニ鞞ハ躡ニ通ストアリ

元車鞞ニ塵藉セラ ○跋扈 邦訓フミツマツク詩經ニ狼跋其胡載震其尾トアリ ○泗河

泗音因泳水ナリ ○不愛 愛ハ惜ナリ ○戈 カウ音工 ○克 カウ音工 ○

○蝥蛉子 邦語ニ養子ト云ナリ養子ハ義子ナリ詩經小宛ニ蝥蛉有子綠羸負之教誨尔子式穀似之 ○經莫

知也 言フハ真見ト爲シテ妾林氏ノ詐ニ出ルヲ知ラザルナリ ○克 カウ音工 ○集矢于

見 飛矢眼中ニ立ツナリ ○甲裳 鎧裙ナリ邦訓グサズリ ○蒲伏 匍匐ト同ジ邦訓ハラバヒト云フコト

○祈請 祈ハ求ナリ ○噴筒 俗ニ筒ガハゼルト云フ ○燔焰 燔ハ炎焰ハ炎ナリ

○走舸 但語ニハマフネト云 ○佚去 佚ハ逸ト同ジ邦訓ガガル ○饗采 饗ハ餉ト

同以軍 龍種 帝胤ト云フ 投環 三環ト為スベシ環ハ城也ナリ前漢書ノ濮陽侯注

二决水以テ自環守ヲ固也ト見エタリ 田横故事 前漢ノ田横其徒五百人ト共ニ海島ノ中ニ居ル高帝之ヲ召ス横浴

陽ニ詣リ使者ニ謝シテ曰ク横始々漢王ト俱ニ南面シテ孤ト称セリ然ルニ王今天子ト為リ横ハ亡虜タリ其愧已ニ甚シト遂ニ自頸ス高帝之ガ夕メニ

流涕シ王ノ礼ヲ以テ之コテ葬レリ 明曆盡 明國ノ曆數尽滅スト云イナリ

明史之下終

元明史略訓字海大尾

東京書肆	北畠茂兵衛	同	稻田政吉
同	牧野吉兵衛	同	伊東岩次郎
同	山中市兵衛	同	岡村庄助
同	稻田佐兵衛	同	長野龜吉
同	東生龜次郎	同	柳川梅次郎
同	内田弥兵衛	同	山口藤兵衛
同	青山清七	西京	藤井孫兵衛
同	江島喜兵衛	大坂	榊原喜兵衛
同	水野慶次郎	同	松村九兵衛
同	浅倉久兵衛	同	前川善兵衛



名吉屋	栗田東平	信州 諏訪	藤屋喜右衛門
小田原	曾比屋甚右衛門	同松本	高宮甚右衛門
同	采屋忠兵衛	静岡	青木榮次郎
山梨	内藤傳右衛門	同	廣瀬市藏
三島	関谷利右衛門	同	佐藤俊平
同下田	鈴木久七	同	精進舎定昌
遠州 濱松	白木健三郎	沼津	吉成壽三郎
同	齊藤太兵衛	横濱	丸屋善六
同掛川	開文舎	武州 熊谷	博文堂
三州 豊橋	玉木庄兵衛	上州 高崎	菊屋源作

版權免許明治十年二月廿六日  
同年十二月廿日刻成

千葉縣 千葉縣  
編輯人 岩城勉

静岡縣 第一區六區伊豆國  
石沢郡修善寺村平沼番地居住

静岡縣沼津書肆

静岡縣 平民  
出版人 小松浦吉

同縣第一區七區沼津  
上方町二百七番地居住

同 同 荒川源助

同縣同區同町四番地居住

合版

